

第 2 回 鶴 岡 市 総 合 計 画 審 議 会

令和 5 年 5 月 2 6 日 (金) 午前 1 0 時～
グランドエルサン ローズルーム

次 第

- 1 開 会
- 2 あ い さ つ
- 3 会長・副会長の選任
- 4 報告・説明
第 2 次鶴岡市総合計画後期基本計画の策定について
- 5 協 議
 - (1) 第 2 次鶴岡市総合計画後期基本計画策定の視点について
 - (2) 未来創造のプロジェクトの今後の方向性等について
 - (3) そ の 他
- 6 そ の 他
- 7 閉 会

資 料 一 覧

- 1 第2回鶴岡市総合計画審議会次第（裏面 資料一覧）
- 2 鶴岡市総合計画審議会委員名簿（裏面 座席表）
- 3 資 料

資料 1 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の策定について

資料 2 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画策定のこれまでの経過について

資料 3 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画策定スケジュール

資料 4 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画策定の視点について

資料 5 未来創造のプロジェクトについて

参考資料 1 第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系新旧対照表

参考資料 2 市民ワークショップ〈つるおか未来カフェ〉について

参考資料 3 第2次鶴岡市総合計画基本計画の進捗評価について

鶴岡市総合計画審議会 委員名簿

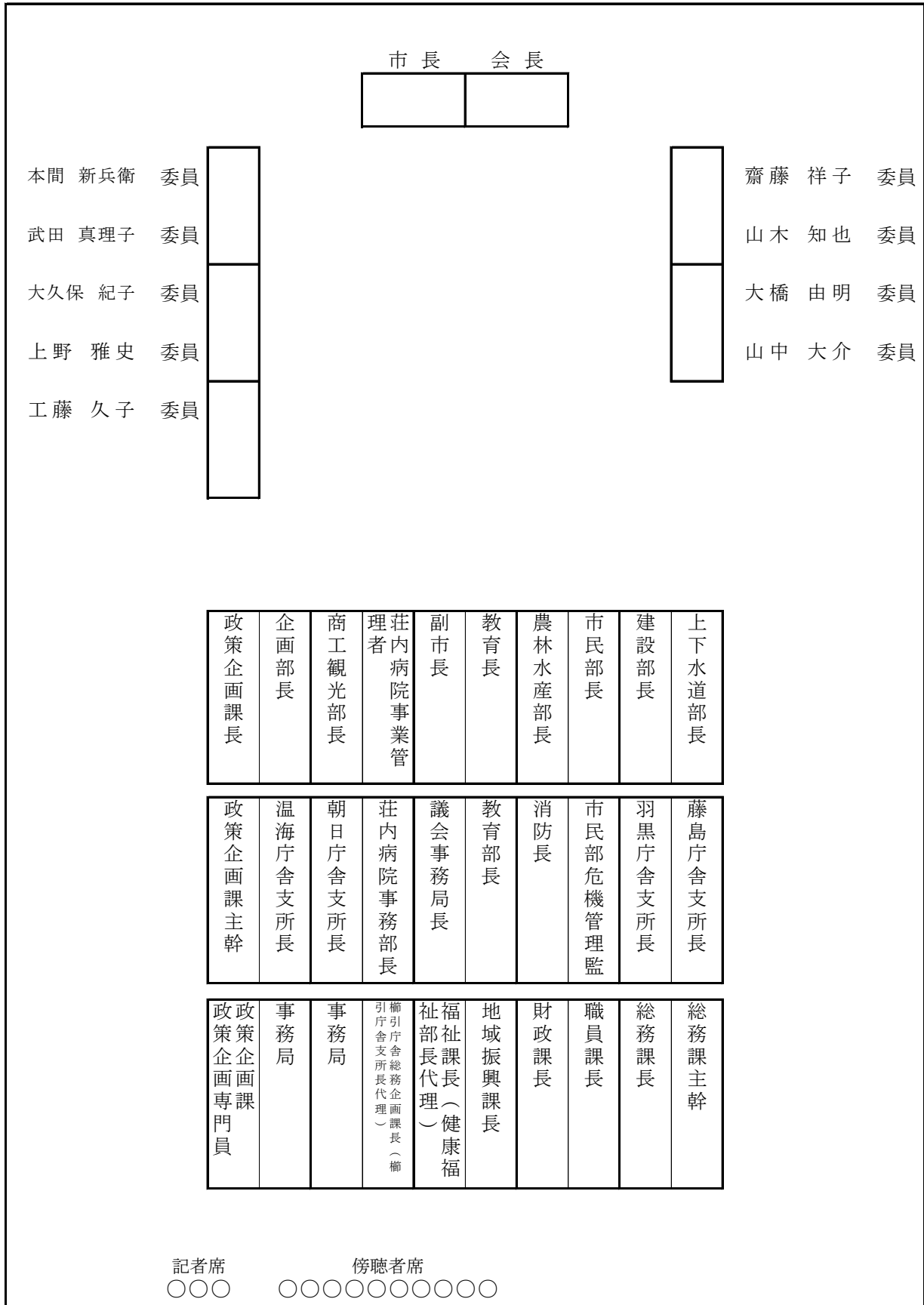
(五十音順、敬称略)

No.	役 職 名 等	氏 名
1 市議会議員		
1	鶴岡市議会	本間 新兵衛
2 知識経験者		
2	山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター長	平 智
3	東北公益文科大学大学院 公益学研究科長	武田 真理子
3 関係行政機関の職員及び団体の役員		
4	出羽商工会 会長	上野 隆一
5	鶴岡市社会教育委員	大久保 紀子
6	鶴岡商工会議所 会頭	上野 雅史
7	鶴岡市農業委員会委員	工藤 久子
8	公益社団法人鶴岡青年会議所 常任理事	齋藤 祥子
9	一般社団法人荘内酒井歴史文化振興会 代表理事	酒井 忠順
10	鶴岡地区医師会 会長	福原 晶子
11	鶴岡市社会福祉協議会 会長	山木 知也
4 市民の代表者		
12	湯田川温泉観光協会理事 合同会社つかさや旅館	庄司 愛恵
13	フェルメクテス 代表取締役	大橋 由明
14	元鶴岡地域審議会委員	丸山 絢子
15	ヤマガタデザイン 代表取締役	山中 大介

任期：令和5年4月1日～令和7年3月31日

鶴岡市総合計画審議会座席表

R5.5.26(金) 午前10時から
グランド エル・サン ローブルーム

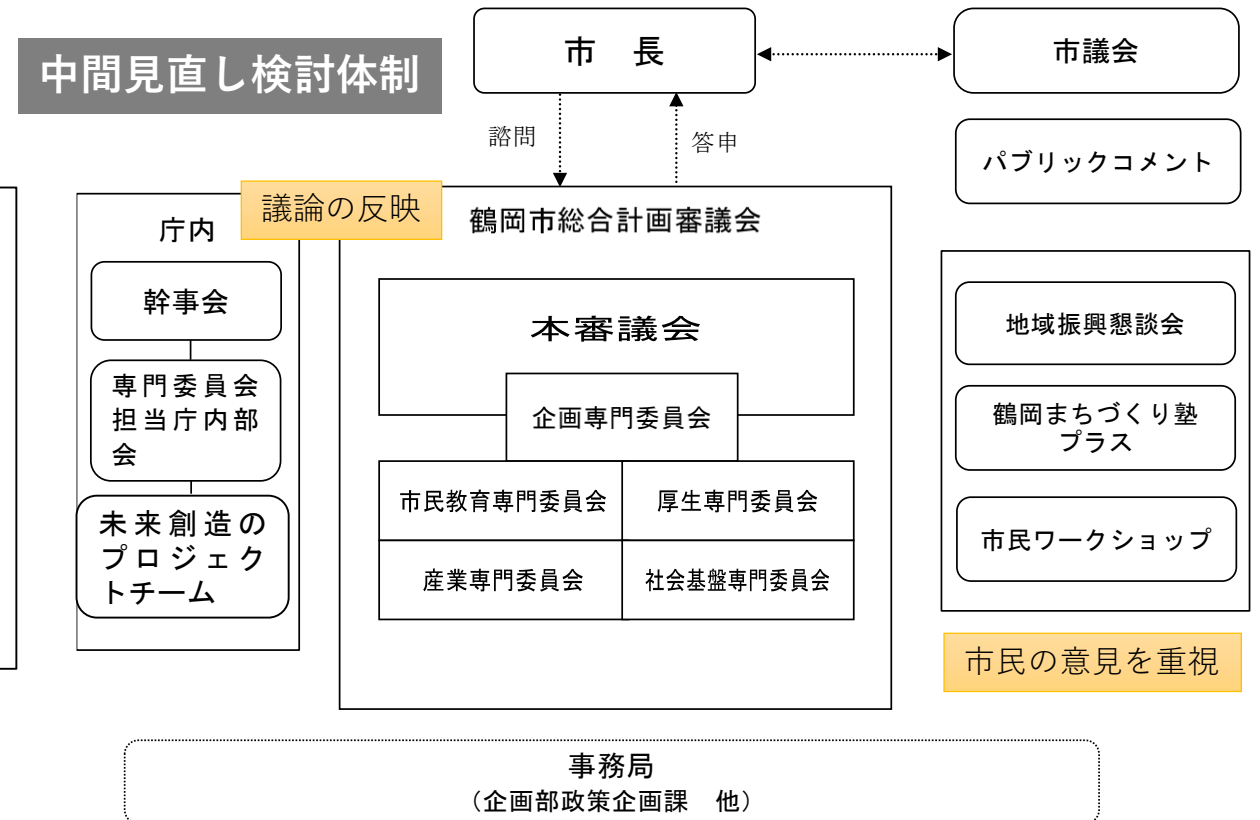


1. 後期基本計画策定の趣旨

- 総合計画のうち、「基本計画」については必要に応じて5年をめどに見直し = 後期基本計画策定
- 社会経済情勢の変化を踏まえるとともに、本市が抱える課題に的確に対応することが必要
- 地域資源を基盤として、デジタル化の推進などの未来につながる変化も捉えながら見直しを図る
⇒ 市内外の活力を呼び込み、市民が暮らしやすさを実感し、将来にわたって持続可能なまちであり続けることを目指し、第2次総合計画後期基本計画を策定する。

2. 後期基本計画策定の基本的な考え方

- 社会経済情勢の変化や新型コロナウイルス感染症（ポストコロナ）を踏まえ、市民意識の変化や地域の実態、課題などを明確化
- これまでの施策の点検評価を行い、施策の方向性など総合計画審議会や専門委員会、地域振興懇談会、庁内等での議論を反映
- 対話の場や、デジタルを活用したアンケート、参加者自らの学びや気づきに繋がるような勉強会、市民ワークショップなどにより市民目線を重視



第2次鶴岡市総合計画 後期基本計画策定 これまでの経過について

開催日	開催会議名等
令和4年 10月31日（月）	第1回 総合計画審議会の開催 ○諮問 ○協議：(1)第2次鶴岡市総合計画基本計画の評価・検証について (2)第2次鶴岡市総合計画基本計画の中間見直しについて (3)後期基本計画策定に当たっての視点について
12月27日（火）	第1回 企画専門委員会の開催 ○委嘱状交付 ○協議：後期基本計画策定において重視すべき点について
令和5年 1月16日（月）	第1回 産業専門委員会の開催 ○委嘱状交付 ○協議：後期基本計画策定において重視すべき点について
1月18日（水）	第1回 市民教育専門委員会の開催 ○委嘱状交付 ○協議：後期基本計画策定において重視すべき点について
1月27日（金）	第1回 社会基盤専門委員会の開催 ○委嘱状交付 ○協議：後期基本計画策定において重視すべき点について
1月31日（火）	第1回 厚生専門委員会の開催 ○委嘱状交付 ○協議：後期基本計画策定において重視すべき点について
2月14日（火）	第2回 企画専門委員会の開催 協議：(1)分野横断的課題・施策の展開に関することについて (2)「未来創造のプロジェクト」の取組について
2月14日（火）	温海地域振興懇談会 ○協議：今後5か年の「温海地域の振興」において重視すべき点について

- 2月16日(木) **羽黒地域振興懇談会**
○協議：(1)第2次鶴岡市総合計画基本計画の中間見直しの進め方について
て
(2)羽黒地域の取り組みについて
- 2月28日(火) **市民ワークショップ「つるおか未来カフェ」**
○テーマ・どのようにして交流人口や関係人口を増やすか
・子育てしやすいまちにするにはどうしたらよいか
- 3月14日(火) **櫛引地域振興懇談会**
○協議：第2次鶴岡市総合計画の中間見直しについて
- 3月16日(木) **藤島地域振興懇談会**
○協議：第2次鶴岡市総合計画の中間見直しについて
- 3月17日(金) **朝日地域振興懇談会**
○協議：第2次鶴岡市総合計画の中間見直しについて
- 3月17日(金) **第2回 産業専門委員会の開催**
○協議：今後5か年の分野別施策の方向性等について
- 3月22日(水) **第2回 社会基盤専門委員会の開催**
○協議：今後5か年の分野別施策の方向性等について
・前回の委員会で出された意見から
- 3月24日(金) **第2回 市民教育専門委員会の開催**
○協議：今後5か年の分野別施策の方向性等について
- 3月29日(水) **第2回 厚生専門委員会の開催**
○協議：今後5か年の分野別施策の方向性等について

総合計画後期基本計画策定全体スケジュール(案)

資料 3

(令和5年5月時点)

月	市	庁内検討部会			市民からの意見徴取
		審議会	企画専門委員会	各専門委員会	
R4/10	幹事会(書面) 各専門委員会委員の選任	第1回 ・ 諮問 (第2次鶴岡市総合計画基本計画の中間見直しについて)			
11					
12			第1回 ・前期基本計画の評価・検証 ・後期基本計画策定において重視すべき点等について		
R5/1				第1回 ・委員長選出 等 ・前期基本計画の評価・検証 ・後期基本計画策定において重視すべき点等について	
2			第2回 ・分野横断的課題・施策の展開について ・未来創造のプロジェクトのこれまでの取組について		市民ワークショップ 第1回地域振興懇談会 ・前期基本計画の評価・検証 ・後期基本計画策定において重視すべき点等について
3				第2回 ・今後5か年の分野別施策の方向性(施策の全体像)等について	
4	主要課題事項説明				
5	審議会委員の選任				アンケート ・子どもの意見聴取 市民勉強会
6		第2回 ・会長選出 等 ・後期計画において優先的かつ重点的に取り組むべき事項について ・未来創造のプロジェクトの今後の施策の方向の考え方について		第3回 ・後期基本計画の体系(大綱別)の案について ・施策の方向、主な施策(大綱別)の案について	第2回地域振興懇談会 ・後期基本計画の体系(地域別)の案について ・施策の方向、主な施策(地域別)の案について
7	サマーレビュー		第3回 ・総合戦略の見直しについて ・分野横断の施策の方向、主な施策の案について		市民勉強会
8	幹事会		第4回 ・後期基本計画の体系(全体)の案について ・施策の方向、主な施策(全体)の案について ・未来創造のプロジェクトの施策の方向の案について		鶴岡まちづくり塾 ・意見交換
9	市議会議員への説明	第3回 ・後期基本計画の体系(全体)の案について ・施策の方向、主な施策(全体)の案について ・未来創造のプロジェクトの案について		第4回 ・後期基本計画(大綱別)の案について ・KPIの見直し案について	第3回地域振興懇談会 ・後期基本計画(地域別)の案について ・KPIの見直し案について
10			第5回 ・分野横断の施策の方向、主な施策の最終案について ・KPIの見直し案について		
11				第5回 ・後期基本計画(大綱別)の最終案について	第4回地域振興懇談会 ・後期基本計画(地域別)の最終案について
12	幹事会		第6回 ・後期基本計画(最終案)について		
R6/1	次年度当初予算ヒアリング	第4回 ・後期基本計画(最終案)について			
2		・ 答申 (第2次鶴岡市総合計画基本計画の中間見直しについて)			(市議会議員への事前配信)パブリックコメント
3	第2次鶴岡市総合計画後期基本計画の策定				

- 現下の情勢に対応し、目指す都市像の実現のために、特に重視すべき視点を設定し、今後の政策展開の基本的方向性を明確化
- 特に重視すべき視点は「5つの加速化アクション」として位置づけ、「施策の大綱」や「未来創造のプロジェクト」を更に加速化して推進
- 個別の計画・ビジョンにおいても、特に優先的かつ重点的に取り組むべき課題として紐づけ、更なる市民参画の下、関連する施策を重点的・横断的に推進

5つの加速化アクション(仮)

①若者・子育て世代に選ばれるまちづくり

～本市で活躍し、ここで暮らしたいという若者や、鶴岡で子育てをしたいという人を増やす～

- ・子どもを産み育てやすい環境の充実
- ・若者の地元回帰・定着の促進
- ・教育環境の充実

(奨学金返済支援、鶴岡型小中一貫教育、人工芝グラウンド場建設、給食センター整備、学童整備、旧二小跡地活用、図書館整備 など)

②SDGs未来都市の実現

～誰一人取り残さず、市民が本当に幸せだと思えるまちの実現～

- ・安心して暮らせる包括的支援体制の整備
- ・多文化共生の推進
- ・資源循環型社会の実現

(地域包括ケアの推進、国がん連携、医ケア児・ヤングケアラーへの支援、国際化推進プラン、汚泥の資源化 など)

③産業振興と人材育成

～地域に根ざした産業の振興を進め、魅力的で多様な雇用の場を創出～

- ・中小企業支援と産業人材育成・確保
- ・農業の生産拡大と担い手の育成
- ・食文化創造都市の推進

(新産業団地造成、SEADS、サイエンスパーク、イノベーションプログラム、新たな食産業の創造など)

④交流人口の創出・拡大

～ひとの交わりを加速させ、移住者や関係人口を増やす～

- ・中心市街地の活性化
- ・戦略的な観光の展開
- ・移住・定住の促進

(酒井家庄内入部400年NEXT100、加茂水族館改築、日本遺産・国民保養温泉地活用、移住定住の横断支援、空き家の活用 など)

⑤ 総合的なデジタル化戦略の推進

(各分野におけるデジタルの有効活用)

施策の大綱・未来創造のプロジェクトを更に加速化して推進するため、特に重視すべき視点と位置付け、落とし込む

大綱 1
暮らしと
防災

大綱 2
福祉と
医療

大綱 3
学びと
交流

大綱 4
農・林・
水産業

大綱 5
商工と
観光

大綱 6
社会の
基盤

大綱 7
地域の
振興

7つの施策の大綱

若者・子育て世代応援



全世代全対象型地域包括



輝く女性活躍推進



食文化・食産業創造



産業強化イノベーション



城下町つるおかリブランディング



地域国際化SDGs推進



7つの未来創造のプロジェクト

人口減少など、著しい社会構造の変化に対応するためには、一つひとつの施策だけでは解決が難しい課題が多くあります。本市では、関係部署が分野横断的に連携して取り組むことで相乗的な効果が期待されるプロジェクトを「未来創造のプロジェクト」として推進しています。

プロジェクト名

これまでのプロジェクトの目的

若者・子育て世代応援プロジェクト

[主管部]: 企画部
[関係部]: 健康福祉部、商工観光部、建設部、教育委員会



人口減少に正面から立ち向かい、若者がここで活躍し、ここで暮らしたいという人が増えるよう、また、子育てが喜びとなり、鶴岡で子育てをしたいという人が増えるよう、「育む」「働く」「住む」「学ぶ」「遊ぶ」「結ぶ」の6つの視点で支援し、若者や子育て世代に選ばれるまちづくりを進めます。

全世代全対象型地域包括ケア推進プロジェクト

[主管部]: 健康福祉部
[関係部]: 農林水産部、荘内病院



住まい、医療、介護、予防及び生活支援を一体的に提供する「地域包括ケア」を、高齢者だけではなく、障害者や子ども、生活困窮を抱える人や社会的孤立状態にある人など幅広く対象に、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができる社会を構築します。

食文化・食産業創造プロジェクト

[主管部]: 農林水産部
[関係部]: 企画部、市民部、健康福祉部、商工観光部、藤島庁舎、教育委員会、上下水道部



四季折々の自然と山、里、海といった変化に富んだ地形がもたらす豊かな食材、それぞれの地域で伝承されてきた郷土食をはじめ、市民が親しむ多様な食文化の特徴を生かして将来にわたって農林水産業を盤石なものとしつつ、食に関わる製造業・卸売業・小売業や宿泊業、飲食サービス業などの産業の発展を図ります。

産業強化イノベーションプロジェクト

[主管部]: 商工観光部
[関係部]: 企画部、健康福祉部、建設部



「しごと」が「ひと」を呼び、「ひと」が「しごと」をつくる好循環を一層発展させ、高等教育研究機関、電子、電機、機械等の高い技術力や開発力を有する企業等が集積しているという地域の強みを生かし、付加価値の高い地域産業や魅力あるしごとづくりを促進します。

城下町つるおかリブランディングプロジェクト

[主管部]: 建設部
[関係部]: 企画部、商工観光部、教育委員会



松ヶ岡開墾150年(2021年)、酒井家庄内入部400年(2022年)を契機に、本市の歴史と文化の顕彰と、街並みや景観の整備など城下町の風情の伝承を行い、城下町鶴岡のブランド化と高い潜在力を引き出し、市民の誇りとなる街づくりを進めます。

輝く女性活躍推進プロジェクト

[主管部]: 総務部
[関係部]: 企画部、健康福祉部、商工観光部、教育委員会



女性が家事、育児といった家庭内での役割を担っている割合が高い一方、就業率も高く、女性はその個性と能力を十分に発揮し、いきいきと働き活躍できる働きやすい環境を整備し、あらゆる分野において男女が互いに協力する社会づくりを推進します。

地域国際化SDGs推進プロジェクト

[主管部]: 企画部、市民部
[関係部]: 農林水産部、健康福祉部、商工観光部、教育委員会



オリンピックなどを機に増大が見込まれる外国人観光客や、労働需要の高まる外国人居住者に対し、国際化の対応を進めます。また、SDGsの基本理念に基づく食文化施策の展開や、外国人の受入環境の整備、地球環境に配慮した取組などを進め、持続可能な都市の実現を目指します。

若者・子育て世代
応援プロジェクト

【子どもを産み育てやすい環境の充実】

・子育てにかかる経済的・精神的負担の軽減に努めるとともに、すべての子どもの健やかな成長を目指し各種施策を展開する。

【若者の郷土愛の醸成と地元回帰の促進】

・若者に継続的なキャリア教育や各種事業を通じて地域資源の学びや人とのつながりを深め郷土愛を醸成することで、若者の地元回帰又は地域外にあって地元にも貢献する意識を高める。
・若者の地元就職、Uターンの受入に資する情報発信や支援制度など、地域の受け入れ体制を充実させる。

【若者の出会い・結婚の支援】

・若者の出会いの機会や地域全体で結婚を後押しする環境づくりを支援する。

【若者の活躍の場の創出】

・市民や学生のまちづくり活動や新規創業の支援を通じ、若者が生き生きと活躍する地域づくりを応援する。

輝く女性活躍推進
プロジェクト

【男女共同参画の推進】

・男女共同参画の理解を深めるとともに、多様な価値観を尊重しながら、あらゆる人にとって住みやすい地域づくりを推進する。

【誰もが働きやすい職場づくり】

・女性の登用や、男性職員の育児休業の取得促進、超過勤務の縮減、柔軟な働き方の導入など、男女がともに家庭や地域、職場で能力を発揮できる環境づくりを推進する。

【交流・学習機会の充実】

・職場や職業を超えて女性同士が「つながり・交流・共感」できる場の提供や、ネットワークづくりを推進する。

全世代全対象型地域
包括ケア推進プロ
ジェクト

【誰もが安心して暮らせる包括的な支援体制の推進】

・既存の相談支援体制と地域の多様な主体との連携のもと、市民の複雑化・複合化した支援ニーズに対応する包括的な支援を推進する。

【支援を必要とする人の地域生活を支える環境の整備】

・災害時の避難や日常生活に困難や不安を抱え、支援や配慮を必要としている方が、安心して地域生活を送れるための取組を推進する。

【医療・介護・福祉連携の推進】

・暮らしに密接に関わりのある地域医療への市民の理解を深めるとともに、地域生活を支える切れ目のない医療と介護、福祉の良質かつ安定的な提供体制を構築するための連携や、顔の見えるネットワークの推進を図る。

地域国際化SDGs推進プロジェクト



【多文化共生のまちづくりの推進】

・国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら地域社会の構成員として共に生きていく多文化共生のまちづくりを推進する。

【自然環境を活かしたまちづくり】

・森、里、川、海の豊かな自然の恵みと生態系を保全、再生して持続的な活用を進めるとともに、森林文化創造によるまちづくりを推進する。

【ゼロカーボンシティ・資源循環型社会の実現】

・脱炭素社会に向けて本市の豊富な地域資源を有効活用して再生可能エネルギーを導入するなど、地域における脱炭素化をSDGsの理念に沿って推進する。

食文化・食産業創造プロジェクト



【食文化を生かしたまちづくりの推進】

・ユネスコ認定10周年からのネクストステージに向け、食と地域をつなぐ市民活動の活性化を通じて持続可能なまちづくりを推進する。

【料理人×医療・福祉プロジェクトの展開】

・料理人と医療福祉分野の連携により、鶴岡食材を活用した嚥下食の外食提供を核とした新たな食産業を創造する。

【オーガニックビレッジ宣言を踏まえた農業の推進】

・堆肥や下水道汚泥コンポスト等の地域内資源を活用した有機・特別栽培農産物の生産拡大、飲食店や学校給食等の地域内消費の拡大やふるさと納税を活用した販売促進などにより、持続可能な農業を推進する。

産業強化イノベーションプロジェクト



【バイオ技術を核とした高度な産業集積の促進】

・慶應先端研の高度な研究機能・成果を生かしたバイオ産業の更なる集積に向け、地元企業との共同研究や、新しい産業の誘致、研究者等の交流を促進するための取組を強化する。

・ベンチャー企業等の更なる事業拡大・成長を促進するため、成長段階に応じた支援のあり方を検討する。

【企業の操業環境の強化】

・企業の新規立地や事業拡大の受け皿となる新たな産業団地の整備を推進する。また、立地企業の安定した生産活動を維持するため、災害に強い環境整備を推進する。

城下町つるおかリブランディングプロジェクト



【歴史文化の学びの充実と継承】

・酒井家庄内入部400年記念事業を生かしながら、歴史と文化の継承とシビックプライドの醸成を図る取組を推進する。また、歴史と文化が感じられる城下町の魅力を生かしたまちづくりを推進し、学びの機会と賑わいを創出する。

【歴史的建造物の保存活用】

・歴史的建造物の保存活用と歴史的景観の保全に取り組み、歴史と文化が薫る、魅力あるまちづくりを推進する。

【観光の再生と戦略的な観光の展開】

・3つの日本遺産や4つの国民保養温泉地を活かしたインバウンドを含む更なる交流人口の拡大とウイズコロナ時代におけるニーズを捉えた観光戦略を推進する。

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系 新旧対照表

参考資料 1

※下線部分は変更点

1 暮らしと防災

環境を保全し、一人ひとりが尊重され、心が通い合い、お互いを見守り支え合う、安全で安心して暮らせる地域コミュニティを構築します

現基本計画の体系		検討中の後期基本計画（案）の体系	
(1) 助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進	ア 住民主体の地域づくりの推進 イ 住民自治組織の強化と地域活動の担い手の確保 ウ 結婚を希望する若者を地域社会全体で支援できる環境づくりの推進	(1) 助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進	ア 住民主体の地域づくりの推進 イ 住民自治組織の強化と地域活動の担い手の確保・ <u>育成</u> ウ 結婚を希望する若者を地域社会全体で支援できる環境づくりの推進
(2) 地域の防災・防犯力の強化	ア 防災体制の強化 イ 地域防災力の確保 ウ 地域の防犯体制の整備 エ 交通安全教育の推進	(2) 地域の防災・防犯力の強化	ア 防災体制の強化 イ 地域防災力の確保 ウ 地域の防犯体制の整備 エ 交通安全教育の推進
(3) 消防・救急体制の充実・強化	ア 消防力の維持・強化 イ 防火対策の推進 ウ 救命救急体制の整備・充実 エ <u>消防団員の確保と非常備消防車両・施設の整備</u>	(3) 消防・救急体制の充実・強化	ア 消防力の維持・強化 イ 防火対策の推進 ウ 救命救急体制の整備・充実 エ <u>消防団組織の充実・強化</u>
(4) 過疎地域の活性化	ア 中山間地域における集落対策の推進	(4) 過疎地域の活性化	ア 中山間地域における集落対策の推進
(5) 移住・定住の促進	ア 移住・定住の促進	(5) 移住・定住の促進	ア 移住・定住の促進
(6) 環境の保全・美化活動の推進	ア 地球環境保全対策の推進 イ 自然との共生と生物多様性の確保 ウ 地域の生活環境の保全と美化運動の推進 エ 環境教育活動の推進	(6) 環境の保全・美化活動の推進	ア 地球環境保全対策の推進 イ 自然との共生と生物多様性の確保 ウ 地域の生活環境の保全と美化運動の推進 エ 環境教育活動の推進
(7) 資源循環型社会の形成	ア ごみ減量・ <u>リサイクル</u> の推進 イ <u>新たな廃棄物処理施設の整備</u> ウ 廃棄物処理施設の機能保持 エ 災害廃棄物処理体制の構築 オ 健全な地下水の保全と適正な利用	(7) 資源循環型社会の形成	ア ごみ減量・ <u>資源化</u> の推進 イ <u>社会の変化に対応した廃棄物処理</u> ウ 廃棄物処理施設の機能保持・ <u>拡充</u> エ 災害廃棄物処理体制の構築 オ 健全な地下水の保全と適正な利用

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系 新旧対照表

1 暮らしと防災

環境を保全し、一人ひとりが尊重され、心が通い合い、お互いを見守り支え合う、安全で安心して暮らせる地域コミュニティを構築します

現基本計画の体系		検討中の後期基本計画（案）の体系	
(8) 持続可能なエネルギーミックスの実現	ア 最適なエネルギー需給の促進 イ 多様な主体の参加と連携によるエネルギー施策の推進	(8) 持続可能なエネルギーミックスの実現	ア 最適なエネルギー需給の促進 イ 多様な主体の参加と連携によるエネルギー施策の推進
(9) 市民に寄り添った窓口サービスの推進	ア 窓口サービスの充実 イ 生活課題に関する相談・支援体制の強化	(9) 市民に寄り添った窓口サービスの 充実	ア 窓口サービスの充実 イ 生活課題に関する相談・支援体制の強化

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系 新旧対照表

2 福祉と医療

地域の福祉や医療の充実を図り、市民一人ひとりが生涯を通じて安心して健やかに暮らすことができる社会を形成します

現基本計画の体系		検討中の後期基本計画（案）の体系	
(1) 子どもを産み育てやすい環境の充実	<p>ア 安心して妊娠・出産・子育てができる細やかな支援</p> <p>イ 子育て世代の負担軽減</p> <p>ウ 未就学児童の教育や保育の充実</p> <p>エ 放課後の居場所づくりの推進</p> <p>オ 子育て支援サービスの質の向上</p>	(1) 子どもを産み育てやすい環境の充実	<p>ア 安心して妊娠・出産・子育てができる細やかな支援</p> <p>イ 子育て世代の負担軽減</p> <p>ウ 未就学児童の教育や保育の充実</p> <p>エ 放課後の居場所づくりの推進</p> <p>オ 子育て支援サービスの質の向上</p>
(2) こころと体の健康づくりの推進	<p>ア 生活習慣病やがんの予防推進</p> <p>イ こころの健康づくりと自殺予防</p> <p>ウ 高等教育機関や研究機関、ベンチャー企業などと連携した市民の健康づくりの推進</p>	(2) こころと体の健康づくりの推進	<p>ア 生活習慣病やがんの予防推進</p> <p>イ こころの健康づくりと自殺予防</p> <p>ウ 高等教育機関や研究機関、ベンチャー企業などと連携した市民の健康づくりの推進</p>
(3) 安心して暮らし続けられる地域福祉の推進	<p>ア 住民の参画と協働による誰もが支え合う地域共生社会の実現</p> <p>イ 生活困窮者の自立と尊厳の確保</p>	(3) 安心して暮らし続けられる地域福祉の推進	<p>ア 住民の参画と協働による誰もが支え合う地域共生社会の実現</p> <p>イ 生活困窮者の自立と尊厳の確保</p>
(4) <u>障害者が自立して暮らせる地域共生社会の実現</u>	<p><u>ア 地域生活を支える環境の整備</u></p> <p><u>イ しごとと社会参加を支援する体制の充実</u></p> <p>ウ 障害のある人にやさしい地域社会の実現</p>	(4) <u>障害者が自立して暮らせる地域共生社会の実現</u>	<p><u>ア 障害者地域生活支援の環境整備</u></p> <p><u>イ 障害者就労・社会参加支援体制の充実</u></p> <p>ウ 障害のある人にやさしい地域社会の実現</p>
(5) 高齢者が健康で生き生きとした地域の実現	<p>ア 介護予防の充実と社会参加の促進</p> <p>イ 地域生活を支える体制の充実</p> <p>ウ 認知症施策の総合的な推進</p> <p>エ 介護保険制度の適切な運営</p>	(5) 高齢者が健康で生き生きとした地域の実現	<p>ア 介護予防の充実と社会参加の促進</p> <p>イ 地域生活を支える体制の充実</p> <p>ウ 認知症施策の総合的な推進</p> <p>エ 介護保険制度の適切な運営</p>
(6) 医療提供体制の充実	<p>ア 急性期・回復期・慢性期まで切れ目のない医療の提供</p> <p><u>イ 在宅医療の推進</u></p> <p><u>ウ 救急医療・災害医療体制の整備</u></p> <p><u>エ 看護師などの医療従事者の確保</u></p> <p><u>オ 市立病院の健全経営と患者サービスの向上</u></p>	(6) 医療提供体制の充実	<p>ア 急性期・回復期・慢性期まで切れ目のない医療の提供</p> <p><u>イ 新興感染症への適切な対応</u></p> <p><u>ウ 在宅医療の推進</u></p> <p><u>エ 救急医療・災害医療体制の整備</u></p> <p><u>オ 医師、看護師などの医療従事者の確保</u></p> <p><u>カ 市立病院の健全経営と患者サービスの向上</u></p>

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系 新旧対照表

向上

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系 新旧対照表

3 学びと交流

歴史と伝統に育まれた優れた文化のもと、ふるさと鶴岡を愛する、いのち輝く人を育て、歴史や文化でつながる交流を広げます

現基本計画の体系		検討中の後期基本計画（案）の体系	
(1) 次代を担う人づくりの推進	ア たくましさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進 イ 豊かな教育資源の活用 ウ 地域と協働する「チーム学校」の推進 エ 適正な教育環境の整備 オ 高等教育機関の特長を生かした教育研究活動の充実と地域産業の発展を担う人材の育成 カ 若者の地元回帰、地元就職の促進	(1) 次代を担う人づくりの推進	ア たくましさ・優しさ・賢さを育む学校教育の推進 イ 豊かな教育資源の活用 ウ 地域と協働する「チーム学校」の推進 エ 適正な教育環境の整備 オ 高等教育機関の特長を生かした教育研究活動の充実と地域産業の発展を担う人材の育成 カ 若者の地元回帰、地元就職の促進
(2) 地域における人づくりの推進	ア 市民の多様な学習活動の推進 <u>イ 社会教育活動推進のための施設機能の充実</u> ウ 家庭教育力の向上 エ 豊かな自然のなかでの子どもの育成 オ 市民の読書活動の奨励・推進 カ <u>男女共同参画と</u> 互いに尊重し合う社会づくりの推進	(2) 地域における人づくりの推進	ア 市民の多様な学習活動の推進 <u>イ 市民の学びや地域づくりのための施設機能の充実</u> ウ 家庭 <u>の</u> 教育力の向上 エ 豊かな自然のなかでの子どもの育成 オ 市民の読書活動の奨励・推進 カ <u>多様性を認め合い</u> 互いに尊重し合う社会づくりの推進
(3) 文化芸術の振興	ア 市民の芸術活動の環境充実	(3) 文化芸術の振興	ア 市民の <u>文化</u> 芸術活動の環境充実
(4) 文化資源の保存・継承・活用	ア 伝統文化と文化財の保存・継承・活用 イ 郷土理解のための歴史資料の保存と活用 ウ 歴史・伝統・文化を大切に誇りを持つ地域づくりの推進 エ 文学資料の調査研究と活用	(4) 文化資源の保存・継承・活用	ア 伝統文化と文化財の保存・継承・活用 イ 郷土理解のための歴史資料の保存と活用 ウ 歴史・伝統・文化を大切に誇りを持つ地域づくりの推進 エ 文学資料の調査研究と活用
(5) 市民スポーツの振興	ア 市民の健康・生涯スポーツの <u>場の形成</u> イ 地域の活力となる競技スポーツの振興 ウ 充実したスポーツ施設の管理運営 エ 子どもや地域に関わるスポーツ環境の充実	(5) 市民スポーツの振興	ア 市民の健康・生涯スポーツの <u>充実</u> イ 地域の活力となる競技スポーツの振興 ウ 充実したスポーツ施設の管理運営 エ 子どもや地域に関わるスポーツ環境の充実

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系 新旧対照表

3 学びと交流

歴史と伝統に育まれた優れた文化のもと、ふるさと鶴岡を愛する、いのち輝く人を育て、歴史や文化でつながる交流を拡げます

現基本計画の体系		検討中の後期基本計画（案）の体系	
(6) 学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> ア 豊かな食材や伝統的な食文化を生かした安全安心な給食の提供 イ 給食施設・機能の整備充実 ウ 給食を通じた子どもの食環境の充実 	(6) 学校給食の充実	<ul style="list-style-type: none"> ア 豊かな食材や伝統的な食文化を生かした安全安心な給食の提供 イ 給食施設・機能の整備充実 ウ 給食を通じた子どもの食環境の充実
(7) 都市交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ア 国内都市交流の推進 イ ふるさと会の組織活性化 	(7) 都市交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ア 国内都市交流の推進 イ ふるさと会の組織活性化、<u>連携強化</u>
(8) 国際化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ア 多文化共生のまちづくりの推進と国際化対応の充実 イ 国際都市交流の推進 	(8) 国際化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ア 多文化共生のまちづくりの推進と国際化対応の充実 イ 国際都市交流の推進

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系 新旧対照表

4 農・林・水産業

人が集い新しいことにチャレンジできる、魅力ある農山漁村を形成し、豊かな食文化を支える農林水産業の生産拡大と所得向上を実現します

現基本計画の体系		検討中の後期基本計画（案）の体系	
(1) 農業を支える人材の育成・確保	ア 担い手の育成・確保 イ <u>雇用就農</u> の受け皿となる企業的な経営体の育成化 ウ 生産に必要な多様な労働力の確保	(1) 農業を支える人材の育成・確保	ア 担い手の育成・確保 イ <u>雇用</u> の受け皿となる企業的な経営体の育成 ウ 生産に必要な多様な労働力の確保
(2) 地域経済を支える農業生産の拡大	ア 水田農業の収益性の向上 イ 産出額拡大に向けた園芸作物の生産拡大 ウ 循環型農業の振興 エ 中山間地域・農村地域の活性化	(2) 地域経済を支える農業生産の拡大	ア 水田農業の収益性の向上 イ 産出額拡大に向けた園芸作物の生産拡大 ウ <u>持続可能な</u> 循環型農業の振興 エ 中山間地域・農村地域の <u>農業</u> 活性化
(3) 農産物の付加価値向上と販路拡大	ア 農産物の <u>ブランド力の強化</u> と販路拡大 イ 6次産業化、農商工親連携の推進と地産地消	(3) 農産物の付加価値向上と販路拡大	ア 農産物の販路拡大 イ 6次産業化、農商工親 <u>学</u> 連携の推進と地産地消
(4) 効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり	<u>ア 木材生産の効率化の推進</u> <u>イ 豊かな森林資源の地域内循環の促進</u> <u>ウ 森林教育と健全で豊かな森林づくりの推進</u>	(4) 効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり	<u>ア 担い手の育成・確保</u> <u>イ 木材生産の拡大</u> <u>ウ 森林資源の利用拡大</u> <u>エ 森林の保全</u>
(5) 水産物の安定供給と漁村の活性化	<u>ア 担い手の育成・確保と漁業の生産基盤の維持</u> <u>イ ブランド化と安定供給による市場評価の向上</u> <u>ウ 水産加工などの推進と交流人口の拡大による漁村の活性化</u>	(5) 水産物の安定出荷と漁村の活性化	<u>ア 担い手の育成・確保</u> <u>イ 漁業生産の拡大</u> <u>ウ 水産物の高付加価値化と消費拡大</u> <u>エ 漁村の活性化</u>

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系 新旧対照表

5 商工と観光

市民の暮らしを潤す力強い産業を振興し、人材を育てながら、国内外との交流を活発化させ、多くの人を惹きつける地域をつくります

現基本計画の体系		検討中の後期基本計画（案）の体系	
(1) 意欲を喚起し市民の暮らしを支えるはたらく場の確保・振興	ア 企業の成長力強化 イ 企業・事業所の立地並びに投資促進 ウ 優れた地域資源を生かした産業の振興 エ 地域の企業活動の支援と地域内循環型経済の推進	(1) 意欲を喚起し市民の暮らしを支えるはたらく場の確保・振興	ア 企業の成長力強化 イ 企業・事業所の立地並びに投資促進 ウ 優れた地域資源を生かした産業の振興 エ 地域の企業活動の支援と地域内循環型経済の推進
(2) 明るく元気な地域の活力の源となるまちの賑わいの創出	ア <u>中心市街地における多様な商業・サービス機能の立地促進</u> イ 地域に根ざした魅力ある商店・商店街づくり	(2) 明るく元気な地域の活力の源となるまちの賑わいの創出	ア <u>中心市街地の活性化</u> イ 地域に根ざした魅力ある商店・商店街づくり
(3) 本市の産業を支え発展に導くはたらく人の確保・育成	ア 若者の地元就職の促進と職業意識・能力形成 イ 起業・創業環境の充実 ウ 働きやすい環境づくり エ 産業人材の育成と職業技術・技能の継承	(3) 本市の産業を支え発展に導くはたらく人の確保・育成	ア 若者の地元就職の促進と職業意識・能力形成 イ 起業・創業環境の充実 ウ 働きやすい環境づくり エ 産業人材の育成と職業技術・技能の継承
(4) 高度な研究教育による新産業創出と起業家育成	ア 高等教育機関、研究機関の研究成果・新技術を核とする新しい産業の振興 イ 産業を創る若い人材の育成・流入・交流の促進 ウ 企業間・産官学金連携の促進と創業・事業拡大支援	(4) 高度な研究教育による新産業創出と起業家育成	ア 高等教育機関、研究機関の研究成果・新技術を核とする新しい産業の振興 イ 産業を創る若い人材の育成・流入・交流の促進 ウ 企業間・産官学金連携の促進と創業・事業拡大支援
(5) 鶴岡ならではの観光の振興	ア 観光戦略・マーケティングなどに基づく観光振興 イ 地域活性化につながる観光振興 ウ 訪れたい、住みたい観光地域づくりの推進 エ 加茂水族館や博物館などを中核とした交流人口の拡大 オ 国際観光都市の実現をめざしたインバウンド誘客と認知度の向上	(5) 鶴岡ならではの観光の振興	ア 観光戦略・マーケティングなどに基づく観光振興 イ 地域活性化につながる観光振興 ウ 訪れたい、住みたい観光地域づくりの推進 エ 加茂水族館や博物館などを中核とした交流人口の拡大 オ 国際観光都市の実現をめざしたインバウンド誘客と認知度の向上

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系 新旧対照表

6 社会の基盤

自然と都市が調和したコンパクトシティの形成を進め、交通や情報ネットワークの充実により市域内外の交流を促進しながら、誰もが安全で快適に暮らせるまちをつくります

現基本計画の体系		検討中の後期基本計画（案）の体系	
(1) 快適な都市環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> ア コンパクトな市街地形成と地域とのネットワークの構築 イ 賑わいのある中心市街地の形成 ウ 歴史や伝統・文化を大切にしたい誇りのもてる地域づくりの推進 エ 地域の特性を生かした景観形成 オ 多様な機能を有する公園・緑地の整備と保全 カ バリアフリーに配慮したまちづくり 	(1) 快適な都市環境の形成	<ul style="list-style-type: none"> ア コンパクトな市街地形成と地域とのネットワークの構築 イ 賑わいのある中心市街地の形成 ウ 歴史や伝統・文化を大切にしたい誇りのもてる地域づくりの推進 エ 地域の特性を生かした景観形成 オ 多様な機能を有する公園・緑地の整備と保全 カ バリアフリーに配慮したまちづくり
(2) 交流・連携の推進と基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ア 東北日本海沿岸地域などとの連携と交流の推進 イ 高速交通ネットワークの充実 ウ ICTの利用環境整備と行政サービスの充実 エ 幹線道路網の整備 オ 安全・安心な市道整備と管理 カ 公共交通ネットワークの形成 キ 港湾の利活用と魅力の創出 	(2) 交流・連携の推進と基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ア 日本海沿岸地域などとの連携と交流の推進 イ 高速交通ネットワークの充実 ウ ICTの利用環境整備と行政サービスの充実 エ 幹線道路網の整備 オ 安全・安心な市道整備と管理 カ 公共交通ネットワークの形成 キ 港湾の利活用と魅力の創出
(3) 安全・安心な生活基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ア 安心に暮らせる住環境づくりの推進 イ 住宅・建築物の耐震化の向上 ウ 人口減少社会に対応した適切な公共施設の管理 エ 安全な水の安定供給 オ 下水道事業の健全経営と効率的な運営 カ 雨水対策の推進 	(3) 安全・安心な生活基盤の整備	<ul style="list-style-type: none"> ア 安心に暮らせる住環境づくりの推進 イ 住宅・建築物の耐震化の向上 ウ 人口減少社会に対応した適切な公共施設の管理 エ 安全な水の安定供給 オ 下水道事業の健全経営と効率的な運営 カ 雨水対策の推進
(4) 計画的な治水強化と市土の保全	<ul style="list-style-type: none"> ア 河川の整備と良好な維持管理 イ 砂防施設などの整備 ウ 海岸の整備 	(4) 計画的な治水強化と市土の保全	<ul style="list-style-type: none"> ア 河川の整備と良好な維持管理 イ 砂防施設などの整備 ウ 海岸の整備

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系 新旧対照表

7 地域の振興

各地域固有の特性や地域資源を最大限に生かし、地域住民が誇りと愛着を持ち、安心して暮らし続けることができる地域づくりを行います

現基本計画の体系		検討中の後期基本計画（案）の体系	
(1) 鶴岡地域	ア 未来を見すえた住民主体のまちづくりの推進 イ 地域の明日を担う人材の確保・育成	(1) 鶴岡地域	ア 未来を見すえた住民主体のまちづくりの推進 イ 地域の明日を担う人材の確保・育成
(2) 藤島地域	ア 豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現 イ 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 ウ くらしやすい”藤島”を実感できる生活基盤の再構築	(2) 藤島地域	ア 豊かな田園文化の継承と水田農業革命の実現 イ 歴史と文化、交流が彩るふじのまちづくりの推進 ウ くらしやすい”藤島”を実感できる生活基盤の再構築
(3) 羽黒地域	ア 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進 イ 地域の特色を生かし価値を高める農業の推進 ウ 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進	(3) 羽黒地域	ア 人を惹きつけ魅力あふれる観光の推進 イ 地域の特色を生かし価値を高める農業の推進 ウ 活力ある地域づくりを担う地域コミュニティの推進
(4) 櫛引地域	ア フルーツの里づくりと <u>地域連携による交流人口の拡大</u> イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進 ウ コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進	(4) 櫛引地域	ア フルーツの里づくりと <u>観光連携による地域の魅力度の向上</u> イ 黒川能など貴重な歴史文化の継承と活用推進 ウ コミュニティの活性化と安全安心な地域づくりの推進
(5) 朝日地域	ア 中山間地域における定住環境の支援 イ 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興 ウ 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興	(5) 朝日地域	ア 中山間地域における定住環境の支援 イ 森林資源、自然環境などを活用し、中山間地に特化した農林業の振興 ウ 自然、文化、風土など、地域資源を活用した観光の振興
(6) 温海地域	ア あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興 イ 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大 ウ 農林水産資源のブランド化	(6) 温海地域	ア あつみ温泉と道の駅を拠点とした地域振興 イ 自然・歴史・文化を生かした交流人口、関係人口の拡大

第2次鶴岡市総合計画後期基本計画（案）の体系 新旧対照表

エ 海・山・自然豊かに暮らし続けられ
環境整備

ウ 農林水産資源のブランド化
エ 海・山・自然豊かに暮らし続けられる
環境整備

R5.2.28 市民ワークショップ<つるおか未来カフェ>(まとめ)

目的

第2次鶴岡市総合計画の中間見直しに当たり、市民の多様な考えや意向等を把握し、計画に反映させることを目的に市民ワークショップを開催。

今回は、令和4年度に「鶴岡を住みたい街ナンバーワンにするために」をテーマに1年間にわたり探求学習を行い、学びを深めた鶴岡工業高等学校1年生を対象に下記のとおりワークショップを開催した。

開催概要

日時：令和5年2月28日(火) 13時20分から15時30分

場所：山形県立鶴岡工業高等学校

参加者：同高等学校 機械科、電気電子科、情報通信科、建築科の1年生32名(男26名 女6名)

コーディネーター：山形大学農学部附属やまがたフィールド科学センター長 平 智 先生(鶴岡市総合計画審議会企画専門委員会委員長)

内容：同高等学校の1年生32名を対象にグループを8つに分け、下記2つのテーマのどちらかを選択。各グループで、テーマについて

①現実と②実現可能性に捉われない解決策という観点からそれぞれ意見を出し合い発表を行った。

テーマ：
・「どのようにして交流人口や関係人口を増やすか」
・「子育てしやすいまちにするにはどうしたら良いか」



R5.2.28 市民ワークショップ<つるおか未来カフェ>(まとめ)

意見概要

テーマ:どのようにして交流人口や関係人口を増やすか(多かった主な意見)×3グループ

<夢を込めた意見>

人を呼び込める施設を建設

- ・食文化創造都市を生かして食文化を楽しめる施設をつくる
- ・荘銀タクトのようなインパクトのある施設をつくる
- ・遊戯、娯楽施設(動物園、テーマパーク、飲食、アパレル)をつくる

交通インフラを整備

- ・新幹線を鶴岡までつなぐ

ご当地PRキャラを考案

- ・くまモンやふなっしーのような人気キャラを考案する

鶴岡の良さを伝える

- ・鶴岡市とどこかの市民を一部入れ替える

<現実的な意見>

鶴岡の魅力を発信

- ・インターネット(SNS等)やテレビ放送などで、鶴岡の魅力をPR
- ・有名人を起用し、加茂水族館とコラボした魅力発信
- ・観光客のためのスタンプラリーの実施

交通網を強化

- ・バス本数の増加など、特に冬の交通網を強化する
- ・高速道路を増やす

地元回帰を促進

- ・里帰りさせるメリットをつくる

テーマ:子育てしやすいまちにするにはどうしたら良いか(多かった主な意見)×5グループ

<夢を込めた意見>

子どもが安全に楽しめる施設を充実させる

- ・遊園地のような施設をつくる

保育園や一時預かり施設を充実させる

- ・多くの子どもが通える保育園の整備
- ・保育園を増やし無料とする
- ・保育園を24時間やっているようにする
- ・一時的にいつでも子どもを預けられる施設があると良い

子育て世帯への経済的支援を実施する

- ・出産祝い金、子育て世帯への支援金給付
- ・高校の授業料・制服・給食費・医療費の無償化

合併により地域を活性化させる

- ・三川町と合併し、三川を商業エリア、鶴岡を居住エリアにする

<現実的な意見>

子育てに係る日用品等を支給する

- ・ティッシュやおむつ、医薬品を家庭に支給

子育てを取り巻く環境を充実させる

- ・男性も育休を取りやすくする
- ・子育てに関する相談ができる環境の整備や機会を増やす
- ・親同士で子育てのことを話し合える場の創出
- ・月に何回かベビーシッターを派遣する
- ・子どもにかかるお金を支援
- ・屋内公園をつくる
- ・空き家を改築して保育所をつくる

【意見のまとめ】

テーマ:どのようにして交流人口や関係人口を増やすか

鶴岡の魅力発信の工夫、公共交通網の強化による課題解決策の提案が多くあった。

テーマ:子育てしやすいまちにするにはどうしたら良いか

子どもの遊び場の整備、子育て世帯への経済的負担の軽減、子どもを預けられる環境の整備・充実による課題解決策の提案が多くあった。

1 暮らしと防災							
(1) 助け合い、支え合う地域コミュニティづくりの推進							
地域ビジョン策定件数（累計）							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	件	4	11	20	43.8%	B	
1	要因分析	地域ビジョンの策定にあたっては、地域住民の話し合いによる意識の共有が重要だが、コロナ禍における行動制限、活動自粛による集まる機会の減少などの影響を受けた。					
	これまでの取組	ワークショップ開催支援やアドバイザー職員制度等により計画策定を支援するとともに、感染対策を講じながらの活動やコミセンなどの通信環境の整備によるWeb会議等の開催を支援した。					
	今後の取組・方向性	未策定地域への支援を行うとともに、地域活動拠点の整備や住民自治組織への財政支援等、ハード・ソフト両面からの支援による住民主体の活動を支援する。					
つるおか婚シェルジュの世話焼き活動による婚姻組数（累計）							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	組	9	20	65	19.6%	B	
2	要因分析	コロナ禍における行動制限等によるお見合いの開催等、ひととの接触に対する不安からお見合い開催回数が減少するなどの影響を受けた。					
	これまでの取組	つるおか婚シェルジュが活動を円滑に行えるよう、世話焼き委員会や世話焼きコーディネーターの配置や2年に1回新しい婚シェルジュの養成講座を実施した。					
	今後の取組・方向性	感染対策を講じながら事業を実施するとともに、婚シェルジュの養成や世話焼き委員の増加や活動しやすい拠点の整備に取り組みながら、結婚を希望する一人ひとりに寄り添った伴走型支援を実施する。					
(2) 地域の防災・防犯力の強化							
地域防災計画上での地区防災計画策定組織数（累計）							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	件	0	34	90	37.8%	B	
3	要因分析	多発かつ激甚化する自然災害に対する防災意識の高まりがみられた一方、コロナ禍における行動制限、活動自粛による集まる機会の減少による影響を受けた。					
	これまでの取組	自主防組織の充実・強化を図るため、研修会、訓練視察、自主防活動実態調査の実施や自主防災組織指導者講習会と修了者へのブラッシュアップ講習会を開催し、地域リーダーの育成強化に取り組んだ。					
	今後の取組・方向性	鶴岡市自主防災組織連絡協議会との連携や地域の防災リーダーの育成、自主防災活動への女性や若者の意見を取り入れ等を行う。					
刑法犯罪認知件数							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	件	428	310	355	161.6%	A	
4	要因分析	地域の防犯体制の強化と犯罪抑止への取組により地域住民の防犯意識の高まりが犯罪件数の減少につながった。					
	これまでの取組	保育園・幼稚園で結成されている「かもしかクラブ」や小学校、老人クラブ等での交通安全指導や交通指導員による児童・生徒の通学路での安全確保、見通しの悪い道路の交差点等へのカーブミラーの設置を行った。					
	今後の取組・方向性	鶴岡市防犯協会等の関係団体との連携をさらに強化するとともに、関係団体が行う地域防犯活動に対する支援を実施する。					
年間交通事故死傷者数							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	人	678	424	450	111.4%	A	
5	要因分析	交通安全教育と啓発、道路交通環境の整備等による意識の高揚が図られたほか、コロナ禍における行動制限等による外出の自粛の影響も見受けられる。					
	これまでの取組	保育園・幼稚園で結成されている「かもしかクラブ」や小学校老人クラブ等での交通安全指導や交通指導員による児童・生徒の通学路での安全確保、見通しの悪い道路の交差点等へのカーブミラーの設置を行った。					
	今後の取組・方向性	鶴岡警察署をはじめとする交通安全関係団体と連携した交通安全教育と啓発に取り組むとともに、交通安全施設の計画的整備に取り組む。					

(3) 消防・救急体制の充実・強化

出火率(人口1万人当たりの出火件数)						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		件	3.4	3.2	2.4	20.0%
6	要因分析	高齢者世帯への防火指導や、事業所等の消防法令違反に対する早期対応により、防火意識の向上が見られた。				
	これまでの取組	高齢者世帯等防火訪問調査による啓発活動や、消防法令違反建物の公表による発災時の危険性周知と是正の促進に取り組んだ。				
	今後の取組・方向性	高齢化率の上昇も踏まえ、関係団体等と連携した高齢者世帯に対する防火指導や、事業所等への防火査察強化により消防法令違反の是正を促進し、安全・安心な街づくりに取り組む。				

(4) 過疎地域の活性化

2018(平成30)年現在の推計値と比較して人口減少や高齢化が抑制されたモデル地区数(累計)						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		地区	0	3	10	30.0%
7	要因分析	住民主体による地域課題の解決に向けた活動の促進と支援によって、一定の効果がみられた。				
	これまでの取組	住民主体の地域づくりの推進や地域力の維持強化のため、集落支援員や地域おこし協力隊を配置したほか、モデル地区において生活基盤の維持・強化を図るための「小さな拠点づくり」に取り組んだ。				
	今後の取組・方向性	地域ビジョンの策定や取組の促進を図るとともに、地域の担い手となる人材の育成に取り組む。				

(5) 移住・定住の促進

移住定住施策による移住件数(年間)						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		件	39	69	55	187.5%
8	要因分析	新型コロナを契機とした地元就職や地方移住への関心の高まりによる影響がみられた。				
	これまでの取組	移住プロモーターの配置等、相談体制と情報発信の強化やお試し住宅の活用、移住に係る経費への支援、奨学金返済支援制度等による地元回帰の促進・定着に取り組んだ。				
	今後の取組・方向性	情報発信や接点づくりを強化するとともに、居住や就業支援等による定着促進を図る。				

(6) 環境の保全・美化活動の推進

温室効果ガスの削減(2015年の温室効果ガス排出量を基準とした削減率)						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		kt-co2	940.7	861.2	755.7	43.0%
9	要因分析	地球温暖化への危機意識やSDGsの理解促進等、自然環境への市民や企業の意識の高まりによる生活環境の保全活動等による影響がみられる。				
	これまでの取組	鶴岡市再生可能エネルギー供給施設の設置等に係る基本ガイドラインの整備や普及啓発、市民・市内企業向けの再エネ補助金や市有施設省エネ・再エネ設備の導入				
	今後の取組・方向性	第3次鶴岡市地球温暖化対策実行計画の中間見直しを行い、実効性や効果が期待できる施策の検討や鶴岡市ゼロカーボンシティ宣言との整合性を図る。				

(7) 資源循環型社会の形成

ごみの資源化率(ごみ総量のうち再資源化した割合)						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		%	12.0	11.7	15.4	-8.8%
10	要因分析	容器等の軽量化や、店頭回収等のリサイクルルートの多様化、コロナ禍における集団資源回収運動の実施回数の減少などによる影響を受けた。				
	これまでの取組	市公式LINEを活用したごみ分別検索機能の提供やごみ焼却施設での古着・古紙・小型家電・水銀製品等の拠点回収を令和3年度から新たに実施した。				
	今後の取組・方向性	資源回収機会の拡大に取り組むとともに、もやすぐみのサンプル調査の結果を踏まえ、ターゲットを絞り込んだ効果的なごみ減量・リサイクル推進施策を検討し実施する。				

(8) 持続可能なエネルギーミックスの実現							
エネルギー自給率							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	%	29.4	31.4	34.0	43.5%	B	
11	要因分析	地球温暖化への危機意識やSDGsの理解促進等により再生可能エネルギーが普及促進されるとともに、風力発電施設の運転開始により発電量の増加がみられた。					
	これまでの取組	ごみ焼却施設によるごみ焼却発電と小中学校への電力供給によるエネルギーの地産地消や市民、事業者による再生可能エネルギーの導入への支援を行った。					
	今後の取組・方向性	市民・市内企業向けの補助金制度、市有施設等への再生可能エネルギー・省エネルギー設備の導入の実施とともに、ガイドラインによる事業者と市民の相互理解のもと円滑な再生可能エネルギー利用を推進する。					
(9) 市民に寄り添った窓口サービスの推進							
マイナンバーカードの交付率							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	%	8.2	39.3	20.0	263.6%	A	
12	要因分析	マイナポイントの付与等、国の普及促進の強化策を踏まえ、独自の普及促進体制を構築し取り組んだことによりカードの申請が増加した。					
	これまでの取組	企業や商業施設、地域の集会所等で出張申請受付を行うなど申請機会の拡大やマイナンバーカードを利用した各種証明書取得のコンビニ交付手数料の引き下げに取り組んだ。					
	今後の取組・方向性	マイナンバーカードと一体化した「マイナ保険証」の導入等により、カード取得への意識が高まっており、市民の申請機会や環境を整える。					
2 福祉と医療							
(1) 子どもを産み育てやすい環境の充実							
本市の「子育てのしやすさ」の評価で「しやすい」又は「ややしやすい」と回答した保護者の割合							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	調査未実施
	%	38.3	-	50.8	-	-	
13	要因分析						
	これまでの取組	妊娠から子育て期の切れ目のない支援や医療費無償化等の経済的負担の軽減策等を実施した。					
	今後の取組・方向性	伴走型相談支援の充実や18歳までの医療費無償化の実施、放課後児童クラブの整備等による子育て環境の充実に取り組む。					
(2) こころと体の健康づくりの推進							
がん検診受診率							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	<ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診受診率 ・大腸がん検診受診率 ・肺がん検診受診率 ・乳がん検診受診率 ・子宮がん検診受診率
	%	32.7 38.9 41.1 23.7 32.6	29.7 37.9 39.4 20.4 30.4	36.6 41.2 43.9 24.7 35.0	-76.9% -43.5% -60.7% -330.0% -91.7%	C	
14	要因分析	コロナ禍における受診控えや集団検診や人間ドックの中止による影響を受けた。					
	これまでの取組	日曜日がん検診や障害者通所施設健診等による受診機会の充実、がん検診受診向上キャンペーンや職域へのチラシ配布による普及啓発活動、がん予防重点地区を定めての健康教室を実施した。					
	今後の取組・方向性	普及啓発事業を継続するとともにSNSを利用した受診勧奨の方法を検討し、受診率の向上と健診の定着化によるがんや生活習慣病の予防を推進する。					
自殺死亡率							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	人口10万対	16.4	24.7	15.0	-592.9%	C	
15	要因分析	全国的にもコロナ禍において自殺死亡率が増加しており、「自殺総合対策大綱」においても新型コロナウイルス感染症拡大の影響等で自殺の要因となり得る様々な問題が悪化したと指摘されている。					
	これまでの取組	こころのサポーター研修や健康教育等による人材の育成や知識の普及啓発、市HPや自殺予防週間(9月)、自殺対策強化月間(3月)等における広報活動を実施した。					
	今後の取組・方向性	社会とのつながりを維持し、孤立化を防ぎ、自殺予防を図るため、地域におけるネットワークの強化や人材の育成、市民への啓発等を実施する。					

(3) 安心して暮らし続けられる地域福祉の推進							
自立相談支援事業の対象である生活困窮者のうち、支援により就労につながった人数（年間）							
16	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		人	46	45	90	-2.3%	C
	要因分析	コロナ禍における経済の停滞、雇止め等による影響を受けた。					
	これまでの取組	コミュニケーション能力の向上に向けた支援や就労体験機会の提供、ビジネスマナー講習等の就労準備支援を実施した。					
	今後の取組・ 方向性	相談しやすい体制づくりと日常生活や社会生活、就労の自立に向けた支援を行う。					
(4) 障害者が自立して暮らせる地域共生社会の実現							
福祉施設に通所している利用者のうち、企業などと雇用契約を結び就労した人数							
17	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		人	11	45	28	200.0%	A
	要因分析	障害者への理解と社会参加促進に向けた取組により、企業の雇用促進に一定の効果があつた。					
	これまでの取組	企業へのチラシ配布やアンケートの実施、県の農福連携推進センターと連携した農業者等と障害者施設とのマッチング等への支援を実施した。					
	今後の取組・ 方向性	企業の理解促進に向けた研修会の実施や農福連携の推進に向けた取組を行う。					
(5) 高齢者が健康で生き活きとした地域の実現							
要介護認定率							
18	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		%	19.59	18.20	19.0	235.6%	A
	要因分析	介護予防活動や高齢者の社会参加、地域活動の促進等による効果がみられた。					
	これまでの取組	住民主体の介護予防、通いの場や老人クラブ活動への支援、就労やボランティア活動等に関する研修会等を実施した。					
	今後の取組・ 方向性	団塊の世代が後期高齢者になることから、フレイル予防や介護の重度化の抑制に向け、地域で介護予防に取り組む通いの場の創出、活動支援に取り組む。					
(6) 医療提供体制の充実							
荘内病院における患者サービスの満足度指数							
19	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		%	84	91.2	94	72.0%	B
	要因分析	地域の医療機関との連携を強化するとともに、医療体制や病院機能の充実を図ることができた一方、医師不足、外来の待ち時間が長いなど課題に対応する必要がある。					
	これまでの取組	国立がん研究センター東病院との遠隔アシスト手術の実施、「料金後払いシステム」や「診察状況案内システム」の導入、面会制限に代わるお見舞いメールフォーム等によるサービスの向上に取り組んだ。					
	今後の取組・ 方向性	大学等との連携強化による医師の確保や荘内看護専門学校の改築による看護師の育成など、医療人材の確保に努めるとともに、更なる待ち時間の短縮やサービスの向上など、患者満足度の向上に努める。					
3 学びと交流							
(1) 次代を担う人づくりの推進							
全国学習状況調査における割合・自己肯定感を感じている子ども							
20	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		%	78	79.6	84	26.7%	B
	要因分析	コロナ禍における学校行事の中止、マスクの着用や給食の黙食による学校生活の変化が影響を及ぼした可能性がある。					
	これまでの取組	「親子で楽しむ庄内論語」を活用した郷土愛の醸成と道徳教育や児童生徒および保護者の課題解決等を支援するためのスクールカウンセラーの配置等を行った。					
	今後の取組・ 方向性	一人ひとりの子どもに応じた支援の充実や自己有用感の育成を意識した指導を行う。					

全国学習状況調査における割合・他者との協働や共生について考えている子ども							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	※「友達と協力することは楽しい」という項目の数値
	%	43	96.3	57	380.7%	A	
21	要因分析	学習指導要領を踏まえた各校の取組により他者との協力を考える子どもが増えた一方、コロナ禍における学校生活の変化が影響を及ぼした可能性もある。					
	これまでの取組	ICT機器を活用した「考え、議論する道徳」の推進や歴史文化や自然を活用し故郷を愛する心情を育て、地域に貢献できる人材の育成に取り組んだ。					
	今後の取組・方向性	学校生活や道徳教育等を通じた共感的な人間関係の育成を意識した指導を行う。					
全国学習状況調査における割合・学んだことを日常に生かそうとする子ども							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	※「算数の授業で学習したことを普段の生活に活用できないか考える」という項目の数値
	%	82	61.8	87	-404.0%	C	
22	要因分析	課題に対してはまじめに取り組むことはできるが、自ら課題を設定し、納得解を見出すことは苦手とする子どもが見受けられる。					
	これまでの取組	GIGAスクール構想に基づくタブレット端末の整備や学校教育の充実と教職員の資質向上に資する教員研修を実施した。					
	今後の取組・方向性	デジタルドリル等を活用した個別最適化された学習の提供や自己決定や自学自習の意識を高める指導を行う。					
高等教育機関等から誕生したベンチャー企業の40歳未満の従業員数							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	人	162	195	270	30.6%	B	
23	要因分析	新型コロナを契機とした新たな産業の機会が創出された一方、経済の停滞により資金調達等への影響も見られた。					
	これまでの取組	バイオクラスター形成促進事業により、県内企業による高等教育機関及び研究機関の研究成果を活用した新製品・新技術の開発や事業化を支援した。					
	今後の取組・方向性	鶴岡サイエンスパークのブランド力と情報発信の強化や鶴岡バイオ戦略懇談会等において、創業から事業化、量産化までの事業ステージに応じたきめ細やかな支援について検討していく。					
(2) 地域における人づくりの推進							
生涯学習講座に参加した市民の満足度							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	%	84.5	90.5	90	109.1%	A	
24	要因分析	講座受講控えやサークル活動の休止等、交流機会が減少した中においても、感染拡大防止策を講じながら住民ニーズに応じた講座の実施により、市民が参加してよかったと思えるよう取り組んだ。					
	これまでの取組	地域の歴史や自然等を学習講座、芸術や文化等に関する講座、健康等生活に関する講座等を実施した。					
	今後の取組・方向性	デジタル化に対応した環境整備や、地域課題解決に向けた学習講座、長期講座の実施等により、受講者数の増加と満足度の維持に取り組む					
家庭教育支援講座を実施した施設割合							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	%	46.8	24.5	70	-96.1%	C	
25	要因分析	新型コロナウイルス感染症の拡大により、講座を中止するなどの影響を受けた。					
	これまでの取組	実施計画調査を行い、実施状況を把握しながら、学校等の保護者会など、多くの親が集まる機会を活用し、子どもの成長各期に応じた課題別子育て講座を実施した。					
	今後の取組・方向性	学習機会の提供や保護者同士がつながりを持つきっかけづくりなどにより、保護者の子育てに対する不安感や負担感の軽減を図るため、講座の増加に取り組む。					
市立図書館における子ども(15歳以下)1人あたりの年間児童図書の出冊数							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	冊	9.5	11.7	14	48.9%	B	
26	要因分析	コロナ禍における休館や外出への不安感による来館者数の減少による影響を受けた。					
	これまでの取組	本館と分館の図書館システムのネットワーク化や移動図書館の運行、保育園や学校等への団体貸出、子どもと子どもに関わる大人を対象とした事業等実施による子どもの読書活動推進に取り組んだ。					
	今後の取組・方向性	市内全域の市民の読書環境の利便性の向上に取り組むとともに、子どもの読書活動推進にあたっては、子どもだけでなく、大人も含めた読書奨励事業に取り組む。					

市内の山形いきいき子育て応援企業優秀企業・実践企業数								
27	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	県が登録・認定を行っていたが、令和元年度に新規募集と更新を停止したことから成果指標の把握ができなくなったもの
			社	29	-	86	-	
要因分析								
これまでの取組								
今後の取組・方向性								
(3) 文化芸術の振興								
文化芸術活動の参加者数								
28	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
			人	107,810	90,177	195,980	-20.0%	
要因分析								コロナ禍におけるイベントの中止、団体の活動自粛等による影響を受けた。
これまでの取組								学習・体験・発表の場として、文化会館やアートフォーラムを文化芸術の拠点施設と位置付けるとともに、芸術文化団体の活動に対する財政支援を行った。
今後の取組・方向性								市民が多様な文化芸術に触れる機会や学習の機会を創出することにより団体・人材の育成を図るとともに、各団体の発表や交流の場の拡大に取り組む。
(4) 文化資源の保存・継承・活用								
文化財施設入館者数								
29	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
			人	916,000	680,464	1,026,000	-214.1%	
要因分析								コロナ禍における休館やイベントの中止、行動自粛による影響を受けた。
これまでの取組								文化財の保存修理工事を計画的に実施するとともに、酒井家庄内入部400年や松ヶ岡開墾150年を踏まえた展示やイベント等を実施した。
今後の取組・方向性								文化財の維持に努めるとともに、歴史文化資料などの研究調査による歴史的価値の解明、歴史文化への理解と関心を高めるための市民への情報発信やイベント等の実施に取り組む。
(5) 市民スポーツの振興								
「運動・スポーツに関するアンケート調査」における割合・成人週1日以上運動実施率								
30	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
			%	53.7	55.6	65.0	16.8%	
要因分析								コロナ禍におけるイベント等の中止や活動自粛はあったものの、個人が日常的に運動を実施する意識の醸成は図られている。
これまでの取組								屋内多目的運動場「JA鶴岡だだちゃアリーナ」の整備やウォーキングイベント等スポーツ機会の創出、総合型地域スポーツクラブの育成や活動支援を実施した。
今後の取組・方向性								人工芝サッカー場の建設やスポーツ施設の改修とあわせ、スポーツ・レクリエーション教室等の開催など、市民が主体的に参画するスポーツ環境について、ハード・ソフト両面からの整備を行う。
「運動・スポーツに関するアンケート調査」における割合・成人週3日以上運動実施率								
31	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
			%	21.9	34.8	30.0	159.3%	
要因分析								コロナ禍におけるイベント等の中止や活動自粛はあったものの、個人が日常的に運動を実施する意識の醸成は図られている。
これまでの取組								屋内多目的運動場「JA鶴岡だだちゃアリーナ」の整備やウォーキングイベント等スポーツ機会の創出、総合型地域スポーツクラブの育成や活動支援を実施した。
今後の取組・方向性								人工芝サッカー場の建設やスポーツ施設の改修とあわせ、スポーツ・レクリエーション教室等の開催など、市民が主体的に参画するスポーツ環境について、ハード・ソフト両面からの整備を行う。
(6) 学校給食の充実								
学校給食に対する満足度・「給食がおいしい」と思う児童生徒の割合								
32	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	・小学生 ・中学生
			%	75.2	97	80.2	436.0%	
			55.3	95	64.2	446.1%		
要因分析								給食発祥の地、食文化創造都市として、郷土料理や行事食の提供や、児童生徒の意見を取り入れたメニュー作りなど魅力ある学校給食を提供したことが満足度の向上につながった。
これまでの取組								地元食材の利用や「もうそう汁」や「いも煮」などの郷土料理、「大黒様のお歳夜献立」などの行事食、ホストタウン相手国のドイツやモルドバ共和国の郷土料理の提供を行った。
今後の取組・方向性								地元の食材の割合の増加や給食を通じた食文化の継承に取り組むとともに、安全で栄養バランスの取れた給食提供に向けた学校給食センターの改築を進める。

学校給食に対する満足度・給食を残さず食べる児童生徒の割合						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		%	77.5 81.8	85 89	82.0 85.5	166.7% 194.6%
33	要因分析	魅力ある学校給食の提供と食育による給食に関わる生産者や調理員への感謝の気持ち、残さないで食べる意識を育むことにより、満足度の向上につながった。				
	これまでの取組	栄養教諭が各学校ごとに、栄養バランスや生活習慣病、食べ残しなどをテーマとした食育を実施した。				
	今後の取組・方向性	学校や家庭と連携し、子供たちに食事の大切さや食に対する感謝の気持ちを醸成させる食育活動の充実を図るとともに、安全で栄養バランスの取れた給食提供に向けた学校給食センターの改築を進める。				
(7) 都市交流の推進						
行政及び民間における相互交流件数						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	件	18	8	25	-142.9%	C
34	要因分析	コロナ禍における行動制限や活動自粛により、相互交流やイベント参加による物産販売等が中止となるなどの影響を受けた。				
	これまでの取組	友好都市との周年事業の開催や本市特産品の斡旋販売を実施したほか、小中学校・民間団体による相互交流や、ふるさと会の活動を支援した。また、友好団体やふるさと会の人的ネットワークを活用し、本市施策の情報発信を行った。				
	今後の取組・方向性	友好都市との歴史文化の相互理解を通じた郷土愛の醸成や交流人口の拡大に取り組むとともに、友好団体やふるさと会等との連携による人的ネットワークの拡大・強化に向けて取り組む。				
(8) 国際化の推進						
外国語講座及び日本語講座受講者数						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	人	1,538	937	1,661	-488.6%	C
35	要因分析	コロナ禍における行動制限や活動自粛により、外国人住民の減少とともに施設の休館や講座の休講回数が増えたことが影響した。				
	これまでの取組	オンライン講座の実施等により、コロナ禍に対応した形での受講機会の確保を行った。				
	今後の取組・方向性	「鶴岡市国際化推進プラン」を策定し、多言語支援の充実や外国人受入れ環境の整備等国際化への対応を検討する。				
4 農・林・水産業						
(1) 農業を支える人材の育成・確保						
新規就農者数						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	人	126 35	244 77	450 240	36.4% 20.5%	B うち新規参入者数
36	要因分析	就農に係る相談対応、知識や技術の習得に向けた研修実施の支援、就農後の営農経費等への支援など就農段階に応じたきめ細やかな就農支援の効果によるものと思料する。				
	これまでの取組	就農相談及び研修実施体制の整備、市の「つるおか新規就農者育成プロジェクト事業」及び「農業研修奨学金制度」の実施等による就農初期の負担軽減、国事業の活用支援、SEADSによる農業経営者の育成等を実施した。				
	今後の取組・方向性	就農段階及び就農形態ごとの課題やニーズに即したきめ細やかな支援策を講じることで新規就農者を確保する。				
(2) 地域経済を支える農産物の生産の拡大						
農業産出額						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	億円	307 140	307.4 134.9	400 200	0.4% -8.5%	C うち園芸作物(野菜・果実・花き)
37	要因分析	高齢化等による担い手の減少、米の国内需要の減退による米価の低迷、頻発する自然災害による生産量の減少等によるものと思料する。				
	これまでの取組	新規就農者の確保・育成、機械・施設等の導入による生産基盤の強化・生産性向上、農地集積・集約化の推進、需要に応じた米生産の推進、園芸団地化の推進、循環型農業の推進、鳥獣被害対策等を実施した。				
	今後の取組・方向性	地域計画の策定及び推進を図りつつ、農業用機械・施設等の導入、需要に応じた米生産の推進、既存園芸団地の生産性向上及び果樹団地形成の検討、循環型農業の推進、鳥獣被害対策を実施する。				

有機米の作付面積						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	38	ha	62	63.2	100	3.2%
要因分析		従来の栽培方法と比べ労働負荷が高いことや、収量の確保が不安定であること等が影響している。				
これまでの取組		環境保全型農業に取り組む農家への支援や、有機農産物への理解を促すため小中学校への有機米を提供した。				
今後の取組・方向性		国のみどりの食料システム戦略の取組みとして、栽培技術の普及講座の開催などに取り組む。				
(3) 農産物の付加価値向上と販路拡大						
産直施設の販売額						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	39	億円	11.4	13.6	15.0	61.1%
要因分析		産直施設の新設支援、農産加工品等の開発支援による付加価値向上、地産地消の推進による地元農産物の消費意欲の向上等によるものと思料する。				
これまでの取組		6次産業化に係る初期費用の軽減、農商工観連携による新規事業創出の推進、販路拡大に向けた取組の支援、地域イベントの開催や学校給食への食材提供の促進による地産地消の推進等を実施した。				
今後の取組・方向性		6次産業化や農商工観連携、販路拡大の取組みを支援し、農産物の付加価値向上及び販路拡大を図るとともに、地産地消を推進することで地元農産物の消費意欲の向上を図る。				
(4) 効率的な木材生産と健全で豊かな森林づくり						
木材生産量(民有林)						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	40	m ³	29,934	40,859	60,000	36.3%
要因分析		林業事業者への支援や路網整備、国産木材や木質バイオマス発電等の需要の増加による効果が見られた。				
これまでの取組		森林環境譲与税を活用した森林整備や路網整備、鶴岡産木材を使用した住宅建築やリフォームへの支援を実施した。				
今後の取組・方向性		林業の担い手の確保や生産性向上のための取組を支援するとともに、鶴岡産木材の活用や未利用材を利用した木質バイオマスの活用の推進を図る。				
(5) 水産物の安定供給と漁村の活性化						
生産額						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	41	億円	14.0	10.8	17.0	-106.7%
要因分析		海水温の上昇、漁業者の減少や高齢化、燃料高騰等による出漁控えによる漁獲量の減少や、コロナ禍における需要の減少による影響を受けた。				
これまでの取組		漁業者の独立に係る初期投資等への支援や設備導入等に対するオーダーメイド型補助金による支援、藻場の保全活動や種苗放流事業等への支援、ブランド魚の消費拡大事業等を実施した。				
今後の取組・方向性		担い手の育成、新たなブランド魚の創出や消費拡大、低利用魚の活用の促進、種苗放流による水産資源増殖、蓄養・養殖の実施体制の構築等、漁獲量の増加と安定出荷体制の整備、魚価の向上に取り組む。				
魚価						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	42	円/kg	493	476	590	-17.5%
要因分析		初期値設定時に好調だったサケマス漁の不振、コロナ禍による飲食店等での地魚需要の低下等、需要や販路の減少の影響を受けた。				
これまでの取組		ブランド魚の創出や消費拡大、「魚のおいしいまちキャンペーン」による地魚の販売促進、出荷魚介の高品質化に向けた設備導入等に対するオーダーメイド型補助金による支援等を実施した。				
今後の取組・方向性		担い手の育成や生産基盤整備、水産資源増殖、蓄養・養殖の実施体制の構築等により安定出荷体制の整備を図るとともに、低利用魚の活用やブランド戦略の推進、出荷魚介の高品質化等の魚価向上策に取り組む。				
5 商工と観光						
(1) 意欲を喚起し市民の暮らしを支えるはたらく場の確保・振興						
従事者一人あたりの商工業等生産額						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	43	万円/人	696	-	792	-
要因分析		成果指標の算出にあたり分母となる「商工業等従業者数」について、5年ごとに調査する経済センサスを利用しているため、算定できなかった。				
これまでの取組		新製品開発事業補助金等による企業の新分野・新事業進出に係る新商品開発・改良や設備投資の支援や経営サポート・新事業支援事業等を実施した。				
今後の取組・方向性		コロナ化を契機とした企業の取組を支援するため、高付加価値製品の開発、地域資源の活用など、新製品開発・販路開拓、技術力向上のための支援制度を整備する。				

(2) 明るく元気な地域の活力の源となるまちの賑わいの創出							
中心商店街における自転車歩行者数(休日・平日の平均)							
44	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		人	3,843	2,878	4,281	-220.3%	C
	要因分析	コロナ禍における外出制限や行動自粛により、市民の外出機会や観光客の減少による影響を受けた。					
	これまでの取組	「FOODEVER」で実施する外部へのPR・賑わいづくりのイベントへの支援をはじめ、中心商店街や各種団体等が連携する各種イベントへの支援を実施した。					
	今後の取組・方向性	中心市街地の活性化の観点から商店街支援を継続するとともに、中心市街地活性化ビジョン及び第3期中心市街地活性化基本計画において新たな取組を検討し、賑わい創出に取り組む。					
中心商店街における空き店舗率							
45	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		%	8.3	10.9	4.5	-68.4%	C
	要因分析	景気低迷による経営不振や後継者の不在による閉店、ネット通販の普及などによる消費者の購買行動の変化による影響が見受けられる。					
	これまでの取組	事業者に対し、創業・開業や事業継承に伴って行う空き店舗等のリフォームに対する支援や空き店舗を利活用した賑わい創出のためのイベント等への支援を実施した。					
	今後の取組・方向性	中心市街地活性化ビジョン及び第3期中心市街地活性化基本計画において、中心市街地の活性化や賑わい創出に向け、空き店舗の減少、新規出店の増加、低未利用地の有効活用に取り組む。					
(3) 本市の産業を支え発展に導くはたらく人の確保・育成							
新規高等学校卒業生就職者のうち市内就職者の割合							
46	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		%	45.0	54.8	66.7	45.2%	B
	要因分析	地元企業の認知度向上に向けた取組や、コロナ禍における地元志向の強まりが反映されている。					
	これまでの取組	学生や保護者を対象とした企業見学会や、中高生の職業体験を通じた地元企業と交流する機会の、高校生の職業観を醸成するセミナーや、企業と高等学校の情報交換のための懇談会を開催した。					
	今後の取組・方向性	学校でのキャリア教育と連携した取組や企業情報の提供や情報交換会、セミナー開催によりミスマッチ防止に取り組む、地元就職の促進していく。					
(4) 高度な研究教育による新産業創出と起業家育成							
高等教育機関・研究機関の研究成果などから誕生した本社を鶴岡市に置くベンチャー企業(従業員4名以上)の数(累計)							
47	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		社	5	5	9	0.0%	C
	要因分析	新型コロナを契機とした新たな産業の機会が創出された一方、経済の停滞により資金調達等への影響も見られた。					
	これまでの取組	先端研究産業振興センターのレンタルラボの増室(20室)による研究環境の整備や市内高等教育機関の同センターへの集積を目指すため、使用料の免除等に取り組んだ。					
	今後の取組・方向性	国立がん研究センター・鶴岡連携研究拠点における研究活動等の支援や鶴岡バイオ戦略懇談会等において、創業から事業化、量産化までの事業ステージに応じたきめ細やかな支援について検討していく。					
上記ベンチャー企業の40歳未満の従業員(役員(非常勤を除く)及び正社員)数※再掲							
48	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		人	162	195	270	30.6%	B
	要因分析	新型コロナを契機とした新たな産業の機会が創出された一方、経済の停滞により資金調達等への影響も見られた。					
	これまでの取組	バイオクラスター形成促進事業により、県内企業による高等教育機関及び研究機関の研究成果を活用した新製品・新技術の開発や事業化を支援した。					
	今後の取組・方向性	鶴岡サイエンスパークのブランド力と情報発信の強化や鶴岡バイオ戦略懇談会等において、創業から事業化、量産化までの事業ステージに応じたきめ細やかな支援について検討していく。					
(5) 鶴岡ならではの観光の振興							
観光入込客数							
49	KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		万人	631	388	790	-152.8%	C
	要因分析	コロナ禍における移動制限や行動制限による全国的な人流の抑制による影響を受けた。					
	これまでの取組	酒井家庄内内部400年を踏まえた観光施策の展開や国の高付加価値化推進事業を活用した宿泊施設整備、ワーケーションの推進に向けた取組を支援した。					
	今後の取組・方向性	3つの日本遺産や4つの国民温泉保養地等地域資源を活用した、鶴岡ならではの観光戦略の推進を図る。					

外国人延べ宿泊者数							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	万人	13,000	1,075	60,000	-25.4%	C	
50	要因分析	外国人の観光客の受け入れにあたり、コロナ禍における渡航制限や国内の移動制限による影響を受けた。					
	これまでの取組	観光施設へのWi-Fiや多言語化案内の整備、インバウンド向けの情報発信や旅行商品造成のため商談会へ参加した。					
	今後の取組・方向性	多言語案内や二次交通の確保等受け入れ環境の整備を行うとともに、周辺自治体と連携した広域的な観光誘客に関する取組も実施する。					
6 社会の基盤							
(1) 快適な都市環境の形成							
中心市街地居住人口の市内総人口に占める割合							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	%	5.4	5.3	5.6	-50.0%	C	
51	要因分析	人口減少と少子高齢化の進展や景気低迷による、空き家・空き店舗の増加等の影響を受けた。					
	これまでの取組	NPO法人つるおかランド・バンクが運営する「空き家バンク事業」への支援や中心市街地の一方通行の見直し、にぎわい創出に取り組んだ。					
	今後の取組・方向性	空き家バンク事業や建築審査会等による空き家・空き地の活用による居住誘導区域への促進や多極ネットワーク型まちづくりの仕組みづくりに取り組む。					
(2) 交流・連携の推進と基盤の整備							
日本海沿岸東北自動車道鶴岡西IC利用台数(台/日)							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	鶴岡西ICの利用台数は、5年に一度国が実施する交通センサスの数値を利用しているため、毎年の比較ができない。 また、当初令和2年度の調査実施予定であったが、感染症の拡大による移動制限などにより、令和3年度に延期して実施されたが公表されていない。
	台/日	7,225	-	11,300	-	-	
52	要因分析						
	これまでの取組	日本海沿岸東北自動車道の全線開通に向けた要望活動を実施した。					
	今後の取組・方向性	早期の全線開通に向けた要望活動を実施するとともに、(仮称)鼠ヶ関IC付近に道の駅あつみの移転整備を行う。					
平成29年度を100とした場合の路線バスなど利用者指数							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	%	100	82	103	-600.0%	C	
53	要因分析	人口減少により、特に高校生等の学生の減少、コロナ禍における行動制限や移動自粛、観光客の減少による影響を受けた。					
	これまでの取組	運行事業者と連携した路線・運行時間等の見直しによる市内循環線の再編や、交通空白地帯解消のためのデマンド交通の導入に取り組んだ。					
	今後の取組・方向性	利便性の高い交通ネットワークの形成と公共交通の利用促進を図る					
(3) 安全・安心な生活基盤の整備							
住宅確保要配慮者専用住宅登録戸数(累計)							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	戸	24	735	70	1545.7%	A	
54	要因分析	大手アパート管理企業が管理物件を全国的に登録したことにより、登録戸数が大幅に増加した。					
	これまでの取組	新たな住宅セーフティネット制度による、高齢者や障害者、低所得者などの住宅確保要配慮者の入居者を拒まない住宅の登録の促進に向けた制度内容の周知等を実施した。					
	今後の取組・方向性	高齢社会の進行により、今後も需要の増加が見込まれる低層階住宅について、民間の既存ストックの活用も図る。					
経年化(老朽)水道管路更新延長							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	m	830	7,493	6,380	120.1%	A	
55	要因分析	計画的な更新を進める中、前倒しの更新等により当初計画より更新延長が伸びた。					
	これまでの取組	アセットマネジメントの導入による計画的な更新と水需要の減少にあわせた水道施設のダウンサイジングを実施した。					
	今後の取組・方向性	計画的な管路の更新に努めるとともに、経営基盤の強化に向けて山形県水道広域化推進プランに基づいた水道事業の広域化に取り組む。					

(4) 計画的な治水強化と市土の保全						
河川の増水による家屋被害件数						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	棟	67	0	0	100.0%	A
56	要因分析	災害が激甚化するなか、治水対策の効果が表れている。				
	これまでの取組	関係団体等と連携して、国による赤川の河道掘削等の整備事業や湯尻川等県管理河川の整備事業の促進について要望活動を実施した。				
	今後の取組・方向性	治水対策が計画的に実施されるよう、関係団体や機関などと連携・調整しながら事業促進に向けて取り組む。				
河川愛護団体(海岸含む)活動団体数						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	団体	58	55	765	-0.4%	C
57	要因分析	コロナ禍における行動制限による活動自粛等の影響を受けた。				
	これまでの取組	クリーン作戦を実施する団体へのごみ袋の提供と拾ったごみの収集・処分や、沿岸域の自治会・住民会等に対して海岸美化清掃に対する協力金を支給した。				
	今後の取組・方向性	市民等と協働した河川や海岸の清掃活動や環境教育等による自然環境保護意識の向上を図る。				
7 地域の振興						
(1) 鶴岡地域						
地域ビジョン策定件数(累計)※鶴岡市全体分						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	件	4	11	20	43.8%	B
58	要因分析	地域ビジョンの策定にあたっては、地域住民の話し合いによる意識の共有が重要だが、コロナ禍における行動制限、活動自粛による集まる機会の減少などの影響を受けた。				
	これまでの取組	ワークショップやアドバイザー職員制度等により計画策定を支援するとともに、感染対策を講じながらの開催や、コミセンなどの通信環境を整備し、Web会議等の活動を支援した。				
	今後の取組・方向性	未策定地域への支援を行うとともに、地域活動拠点の整備や住民自治組織への財政支援等、ハード・ソフト両面から住民主体の活動を支援する。				
人材育成の取組を通じて新たに実施される地域づくりのプロジェクト件数(累計)						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	件	12	27	88	19.7%	B
59	要因分析	コロナ禍における行動制限等によるイベントや人が集まる機会の減少の影響を受けた。				
	これまでの取組	住民主体のまちづくりを促進するため、学びの場の提供や「アドバイザー職員」の派遣、活動・取組にかかる経費の支援等を実施した。				
	今後の取組・方向性	地域の組織基盤強化と担い手の育成・確保に取り組むとともに、地域の活性化、課題解決に対する活動やまちづくりに関わる人材同士の交流や連携の促進を図る。				
(2) 藤島地域						
農業収入1,000万円以上の経営体割合						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	%	16.4	19.5	30.0	22.8%	B
60	要因分析	コロナ禍における外食産業の停滞により出荷業者の収入減や物価高を受けて資材、肥料、燃料費の高騰による影響を受けた。				
	これまでの取組	地域が一体となって組織する「藤島農産物元気食楽部」による、農家の連携と技術交流や先進技術の実践と取り組み者数の拡大など、「藤島ブランド」の確立に向けた活動を展開した。				
	今後の取組・方向性	大規模化に対応した低コスト・省力化対策の普及拡大を図るとともに、大豆やネギといった複合経営作物に取り組む。				
ふじ関連イベント・施設入込数						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	人	21,615	30,507	36,800	58.6%	B
61	要因分析	コロナ禍における行動制限や活動自粛によるイベントの中止や規模縮小といった影響を受けた。				
	これまでの取組	地域協働で花壇整備を行い、ふじの花まつりや藤島歴史公園「Hisu花」でのイルミネーションの等のイベントを実施した。				
	今後の取組・方向性	公園でのイルミネーション以外の企画や「ふじ」にちなんだお土産やキャラクター等の開発、公園周辺を周遊する仕組みづくりを地域全体で検討する。				

藤島地域の年間人口減少率							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	%	-1.9	-1.6	-1.5	75.0%	B	
62	要因分析	市全体で人口減少が進む中、高齢者や子育て世代への支援による一定の効果があつた。					
	これまでの取組	長沼温泉「ぼっぼの湯」を拠点としたフレイル予防や託児入浴などの子育て世代の支援事業、デマンドタクシーによる地域主体の地域公共交通の導入等を行った。					
	今後の取組・方向性	高齢者の健康増進、社会参加の機会の創出や子育て世帯への支援に取り組むとともに、老朽化した中学校の改築を含む文厚エリアの再編について地域の意見を踏まえた検討を進める。					
(3) 羽黒地域							
月山・羽黒山の観光入込客数							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	人	737,200	579,800	800,000	-250.6%	C	
63	要因分析	コロナ禍における行動制限や外国人観光客の渡航制限による影響を受けた一方、近県からの教育旅行の増加といった側面も見られた。					
	これまでの取組	手向地区宿坊街固有の景観に調和した修景整備や精進料理に関するパンフレットや英語版HPの作成による国内外への魅力発信、羽黒山歴史探訪や山伏修行体験塾の開催等を実施した。					
	今後の取組・方向性	R5年度の月山卯年御縁年を中心としたイベントの企画、宿坊街や国指定特別天然記念物「羽黒山スギ並木」を含む羽黒山参道や景観の保全に対する支援に取り組む。					
堆肥散布量（羽黒町堆肥利用組合）／JAアスパラ部会（羽黒地域）の販売額							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	堆肥散布量（羽黒町堆肥利用組合） JAアスパラ部会（羽黒地域）の販売額
	t 万円	1,757 4,000	1,940 629	1,810 12,000	345.3% -42.1%	C	
64	要因分析	肥料価格の高騰による堆肥の需要の増加がみられた一方、生産者の高齢化等による廃園や大雨や茎枯病などによってアスパラガスの生産量が減少するなどの影響がみられた。					
	これまでの取組	羽黒高品質堆肥製造施設の指定管理による堆肥の製造販売に取り組んだ。アスパラガスについては、植栽に伴う苗及び堆肥代金に対して支援した。					
	今後の取組・方向性	肥料価格の高騰による需要に対応する堆肥の生産量の確保に取り組む。アスパラガスの収量増加に向けた新たな栽培方法に取り組む。					
地域活動センター利用者数(4地区合計)							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	人	41,842	23,032	41,900	-32431.0%	C	
65	要因分析	コロナ禍における行動制限や活動自粛による施設の休館やイベントの中止による影響を受けた。					
	これまでの取組	センターの計画的な修繕や防災資機材庫の設置による防災機能の強化等、環境整備を実施した。					
	今後の取組・方向性	センターの計画的な修繕やAEDの設置を進めるとともに、地域ビジョンの策定や実践を推進し、地域活動や担い手の育成に取り組む。					
(4) 櫛引地域							
果樹販売額（JA櫛引支所、産直施設）							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	千円	318,759	337,350	330,000	165.4%	A	
66	要因分析	ぶどうやさくらんぼ人気の上昇により販売額が伸びた。					
	これまでの取組	ふるさと納税返礼品へのぶどうやさくらんぼの登録、「くしびきフルーツ日記」等の情報発信、雹害被災農家支援を目的とした「くしびき☆えくぼフルーツフェア」の実施等に取り組んだ。					
	今後の取組・方向性	「フルーツの里」ブランド化支援事業の継続や情報発信・プロモーション活動の強化、フルーツフェアの継続実施、ふるさと納税の推進、園地継承・後継者確保に取り組む。					
櫛引地域観光果樹園観光入込客数							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	人	18,258	13,471	24,000	-83.4%	C	
67	要因分析	コロナ禍における行動制限や移動制限により、観光客の減少や観光果樹園の開園見送り等の影響を受けた。					
	これまでの取組	SNSを活用した情報発信やモニターツアーの実施、グリーンツーリズムの展開等による誘客促進に取り組んだ。					
	今後の取組・方向性	フルーツの里推進員による情報発信やプロモーション活動の強化や園地継承・後継者確保対策として果樹生産者実態把握調査の実施等に取り組む。					

櫛引地域の年間観光入込客数(11施設)						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
		千人	748	621	1,004	-49.6%
68	要因分析	コロナ禍における行動制限や移動制限により、観光客の減少や施設の休館等の影響を受けた。				
	これまでの取組	黒川能を軸とした地域特有の風土、暮らし、産物等を活用した農家民宿への支援、丸岡城跡史跡公園の駐車場整備や多言語表記による観光パンフレット・施設案内看板の制作等を実施した。				
	今後の取組・方向性	魅力ある展示や体験メニュー等の企画、HP・SNS等を活用した情報発信の強化や観光ガイドの担い手育成に取り組む。				
単位自治組織の地域ビジョン策定数(全21組織・累計)						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	組織	1	1	10	0.0%	C
69	要因分析	コロナ禍における活動自粛(自治会総会の書面決議や会合の中止など)により、自治会の将来を考える機会の減少等の影響があった。				
	これまでの取組	地域まちづくり未来事業・アドバイザー職員制度による集落支援や、櫛引生涯学習振興会による生涯学習・人づくり活動の推進、広域コミュニティ組織の研究・検討を再開した。				
	今後の取組・方向性	当面の優先課題として、少子高齢化や若者の流出等による自治会役員の担い手不足、防災意識の高まりなどを受けて再開した「広域コミュニティ組織の研究・検討」を進める。				
(5) 朝日地域						
転出による世帯減少率						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	%	-2.3	-1.8	-1.5	62.5%	B
70	要因分析	市全体で人口減少が進む中、生活環境の維持確保に向けた取組による一定の効果があつた。				
	これまでの取組	若者同士をつなぐネットワーク「チームWaGeSho」への支援や克雪住宅の建築、生活道の除雪対策等への支援、モデル地区において生活基盤の維持・強化を図るための「小さな拠点づくり」等に取り組んだ。				
	今後の取組・方向性	住民自らが地域課題に取り組む仕組みづくりを推進し、地域を支える人材の育成を図るとともに、中山間地域の課題解決に向けたデジタル技術のモデル活用に取り組む。				
地域内経営耕地面積の確保						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	ha	843	732	820	-482.6%	C
71	要因分析	高齢化や後継者不足により経営体の減少、農地の荒廃などの影響がみられた。				
	これまでの取組	月山ワインや朝日産そば等の販路拡大や消費拡大への取組支援、若者農業者の交流、活動への支援等を実施した。				
	今後の取組・方向性	地域農業の担い手の育成やIoT等を活用した鳥獣害被害対策、地元農産物や加工品の認知度向上、消費拡大に取り組む。				
朝日地域への観光入込客数						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	千人	526	234	530	-7300.0%	C
72	要因分析	コロナ禍における行動制限や移動制限により、観光客の減少や施設の休館等の影響を受けた。				
	これまでの取組	六十里越街道の魅力発信や登山環境の整備、湯殿山スキー場のリフト改修等に取り組んだ。				
	今後の取組・方向性	地域資源を生かした体験プログラムの充実や二次交通の確保、観光ガイド等観光業の担い手の育成や確保に取り組む。				
(6) 温海地域						
あつみ温泉及び鼠ヶ関地区内観光施設の観光入込客数(道の駅含む)						
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況
	千人	478	240	820	-69.6%	C
73	要因分析	コロナ禍における行動制限や移動制限により、観光客の減少や施設の休館等の影響を受けた。				
	これまでの取組	あつみ温泉では、桜並木の植え替えや休憩施設の修繕、お湯奥まつりの開催支援等を行うとともに、国の高付加価値化事業を活用した宿泊施設・商業施設の改修等を後押しした。				
	今後の取組・方向性	あつみ温泉パラ園の整備や道の駅あつみの移転整備を行うとともに、「歩いて楽しい温泉街」づくりに官民連携で取り組む。				

教育旅行受入れ学校数							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	74	校	2	43	12	410.0%	
要因分析		コロナ禍におけるマイクロツーリズムの需要の高まりにより、県内や隣県からの修学旅行が増加した。					
これまでの取組		SDGs教育旅行の展開やNP0法人自然体験温海コーディネットの着地型観光の取組を支援した。					
今後の取組・方向性		観光客の受入れ体制の整備を進め、学びと体験を通じた「SDGs×教育旅行」を推進する。					
越沢三角そばの栽培面積／焼畑あつみかぶの販売単価							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	75	m ² 円/kg	25,160 209	102,280 208	80,000 230	140.6% -4.8%	
要因分析		在来作物としてのブランド力向上を図った効果が表れた。					
これまでの取組		そば打ち講習会や製粉機等の整備、乾麺の開発に対する支援を行った。 新たな生産者の確保のため「焼畑あつみかぶ栽培チャレンジサポート事業」を実施した。					
今後の取組・方向性		生産・栽培体制を整備するとともにそば祭りや首都圏を中心としたPR活動等により知名度の向上を図る。 伝統農法の承継と将来的な安定・継続した生産を図り、首都圏等へ生出荷する市場開拓にも取り組む。					
集落ビジョン策定自治会数							
KPI	単位	現状値 (初期値)	R3実績	成果指標 (目標値)	進捗率	進捗 状況	
	76	自治会	11	12	27	6.3%	
要因分析		コロナ禍における行動制限や活動自粛により、地域で集まり話し合う機会の減少といった影響を受けた。					
これまでの取組		集落ビジョンの策定に係るコーディネート業務を委託し、ワークショップや編集会議を行いビジョン策定を支援した。					
今後の取組・方向性		ビジョンに基づき事業展開している自治会の取組み事例や先進事例の説明会、策定に関わるワークショップ等の支援により集落ビジョン策定を促進する。					